

官報號外

明治三十年二月二十八日

日曜日  
内閣官報局

○第十回 帝國議會衆議院議事速記錄第十五號

明治三十年二月二十七日(土曜日)午後一時二十六分開議

議事日程 第十五號 明治三十年一月二  
午後一時開議

新聞紙條例中改正法律案(政府提出)  
保稅倉庫法案(政府提出)

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
關稅定率法案(政府提出)

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
新聞紙條例改正法肆案（實業勞人君外二名）

新開紙法纂(元田肇君提出)

千葉縣・茨城縣・境界變更法律案(木村格之輔  
外七名是出)

明治二十七年法律第二十號 中改正法律案（  
第九  
信之介君外二十八名提出）

第十 郡制中改正法律案(久保九兵衛君外一名提出)

鳩山和夫君) 是ヨリ報告ヲ爲シマス  
(田中書記官朗讀)

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ  
明治二十七年法律第二十三號改正法律

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ  
廣島縣蜀山禁界變更並廣島縣下郡界變更法律案

提出者

酒造稅法中改正法律案  
提出者 花

五百

大和日

## 自家用酒稅法中改正法律

提出者  
下飯坂權三郎君

特別委員長及理事左ノ適當選セラレタリ

衆議院議事速記錄第十五號

明治二十年二月二十七日

議長ノ報告

質問ノ理由ニ關スル小室重弘君ノ演説

守屋此助君  
久保九兵衛  
本平左衛門  
井金四郎君  
橋細君  
賴本君  
河井君  
野俊君  
岩吉君  
兼吉君  
義吉君  
貞吉君  
直吉君  
君至君  
君治君  
君君君

○議長(鳩山和夫君) 是ヨリ會議ヲ開キマス  
○小室重弘君(二百九十八番) 議長  
○議長(鳩山和夫君) 小室重弘君  
○○小松二省君(八十番) 議長  
○議長(鳩山和夫君) 小室重弘君ニ登壇ヲ許シマシタ  
〔小室重弘君演壇ニ登ル〕  
○小室重弘君(二百九十六番) 私ハ此高等教育會議ノコトニ就イテ、政府ニ質問書ヲ私及柏田盛文君ト提出シタノデゴザイマス、此演説ハ昨日致ス譯デアリマシタガ、田中君ガ二時間モ演説サレタ後トデアッタカラ、御遠慮ヲ致シテ今日極ク簡單ニ説明致シテ置キマス、諸君ガ御承知ノ如ク、此高等教育會議ヲ設ケテ、サウシテ教育社會ノ輿論ヲ聽イテ之ヲ實行シ、又教育ノ中心機關ヲシテ一定不動ナル方針ヲ執ラシメタイト云フ事柄ハ、此衆議院ノ年來ノ希望デゴザイマシテ、既ニ建議案モ貴衆兩院共ニ提出シテゴザイマシタ、然ルニ昨年第九議會ノ時分ニ、柏田君ガ政府ニ對シテ、此事ニ就イテ質問ヲシタコトガゴザイマシタガ、其時ニ時ノ文部大臣ハ此質問ニ答ヘテ、質問者ノ言フガ如キモノデアルナラバ、別ニ高等教育會議ヲ設ケルニ及バナイ、文部大臣ハ何時デモサウ云フ教育上ノ諮詢會ヲ開クコトガ出來ルノデアルカラ、別ニサウ云フモノハ捨ヘル必要ガナイ、甚シキハサウ云フコトヲ云フノハ、文部大臣ノ職權以内ニ切込ンダモノダト云フヤウナ答ガアッタ記憶致シテ居リマス、然ルニ昨年ノ十一月十七日ノ日ニ、政府ハ此建議ヲ設ケルニ及バナイ、ゴザイマセウカ、高等教育會議規則ナルモノヲ發表ヲ致シマシテ、今年ノ四月一日ヨリ實行スルト云フコトニナッテ居リマスルガ、勿論政府ガ高等教育會議ナルモノヲ茲ニ發表シマシタノハ、強チニ人氣取リト云フ主義バカリデモゴザリスマサイ、恐ラクハ此衆議院ノ建議等ニ於テ深ク感悟スル所ガアッテ、ソレヲ容レタノデアラウト思フノデゴザイマスガ、併ナガラ此規則ニ就イテ私共ガ考ヘテ見ルト、此勅令三百九十號デ發表サレタ通ノ高等教育會議ノ規則デゴザイマスルナラバ、昨年西園寺文部大臣ノ所謂殆ド設クルノ必要ハナイ、何時デモ此位ノコトナラバ、大臣ノ權限内ニ於テ諮詢會ヲ作ルコトが出來ルト云ツタ通ノ譯デゴザイマス、此規則ノ第三條ヲ見マスルト、此會議ノ議員ニナルベキモノ、即チ高等教育會議ノ組織ト云フコトニ就イテハ、帝國大學總長、各大學長、文部省ノ局長、又ハ高等師範學校長、女子高等師範學校長、高等商業學校長、高等工業學校長、高等美術學校長、高等學校長一人、其外學識アル者、又ハ教育事業ニ經歷アル者七人以内ヲ以テ組織スルト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ吾ミガ是デハ此組織上ニ就イテ餘程不完全デアルト考ヘマスルカラ、政府ハ果シテ能ク此組織ヲ以テ教育社會ノ輿論ヲ集メテ、茲ニ吾ミノ希望シタ通ノ高等教育會議ヲ設置シタ目的ヲ達シ得ラ

Digitized by srujanika@gmail.com

ル、ト云フ御考アルカ、或ハ是ヨリ更ニ此組織ノ改正ヲ致シテ、完全ナモノトスルト云フ意向アルカ、其旨意ヲ聽キタイト云フ質問デゴザイマスルガ、此規則ヲ見ルト、議員ノ數ハ僅ニ二十二人アリマスギリデゴザイマス、之ヲ西洋各國アタリノ例ニ見ルモ、即チ佛蘭西國ノ高等教育會議ノ規則ニ依クテ見マスルト、議員ハ六十名以上モアツテ、其國中ノ此教育ニ關スル學校ノ種類、又教育ニ關スル所ノ役人學者ヤ、サウ云フモノヲ皆網羅シタルモノニナツテ居リマス、ソレデ私共ノ改正ノ希望ニ於テモ、又其如クシタイト思フノノアリマス、デ吾々ノ希望ヲ一ト通述べテ見マスルト、第一ニ此高育、即チ陸軍海軍等ノ教育ニ關シテハ、陸軍海軍ノ教育主任ノ將校ト云フモノヲ以テシナケレバナラヌ、又陸海軍人ノ如キ、今日以後尙武ノ氣象ヲ喚起シ、勇武ナル國民ヲ作ルニハ、是非トモ此陸海軍ノ人ガ關係ヲスルト云フコトガ必要デアル、又地方一般ノ教育ノ上ニ關スル地方經濟、地方ノ制度、若クハ此社會ノ風紀ニ關シ取調ベルト云フヤウナコトニ至リマスルナラバ、縣治局長ノ如キ、警保局長ノ如キ、斯ル人物ヲモ加ヘテ置カナケレバナラヌ、又今日ノ急務デアル所ノ臺灣或ハ北海道ノ事ニ關シマシテハ、其當局タル拓殖務省ノ高等官モ此中ニ這入テ來ナケレバナラヌ、此他吾々が缺ケテ居ルシテ居ル譯デアツテ甚ダ遺憾ニ思ヒマス、ソレデ私共ノ希望ノ如ク、是等ノト思フモノハ、學員院長、華族女學校長、商船學校長、或ハ音樂學校ノ主事、尋常師範學校長、公立尋常中學校長、公立高等小學校ノ校長、私立學校ノ校長、東京學士會院長、文部省ノ衛生顧問會議長ト云フヤウナモノガ、此中ニ必ズ加ヘラルベキ性質ナモノデアルト思ヒマス、然ルニ斯ノ如キモノガ缺漏又今日ノ急務デアル所ノ臺灣或ハ北海道ノ事ニ關シマシテハ、其當局タル拓殖務省ノ高等官モ此中ニ這入テ來ナケレバナラヌ、此他吾々が缺ケテ居ルシテ居ル譯デアツテ甚ダ遺憾ニ思ヒマス、ソレデ私共ノ希望ノ如ク、是等ノモノモ入レテ完全ナ組織ニシテヤルナラバ、規則ノ第三條ニ掲グテゴザイマスル二十二人ト云フモノハ、更ニ四十一人ノ數ヲ増スヤウニナリマス、ソレカント此中ニ第二ノ希望トシテ、文部大臣ハ其自己ノ意思ノ儘ニ、何時デモ此會ヲ開クコトガ出來ルヤウニナツテ居リマシテ、此會ハイツ何時ニ開クト云ス、又教育ノ問題ニ就イテ臨時ニ起シテ來ル種々ナ出來事ナゴザイマシタ時分ニ、サウ云フ特別ノ事情ガ茲ニアツテ、之ヲ問題トシテ議サナケレバナラヌト云フ時ニハ、特ニ其事柄ニ關シテ臨時議員ト云フモノモ作ラナケレバナラヌ、又平生此教育高等會議ニ附セントスルノ問題其他ニ就イテ調査ヲ致シタリ、種々ナ任務ヲ盡サセルタメニハ、常任委員ヲ作り、又當リ前ノ他ノ總テ張ヲ致スベキ教育ノ目的ニ適ハヌト思ヒマス、因テ私共ハ之ヲ改メテ、高等教育會議ヲ決定シタモノハ、獨リ文部大臣ニノミ建議ヲスルト云フコトガ出来得ルノミナラズ、又例ヘバ實業ノコトデゴザイマスレバ、農商務省ノヤウ

ナ所ニ向ツテモ建議ヲ爲シ得ル、或ハ其他ノ各官省ニ向ツテモ、總て建議ヲ  
出シテ其實行ヲ促スト云フコトガ出來マセヌケレバ、效力ガ十分デナイト考  
ヘマス、ソレカラ又此中デ改正ヲスルコトノ必要ト思ヒマスルノハ、第八條  
ニ、此高等教育會議ハ祕密會ニスルト云フコトガ書イテアル、全體此教育ノ  
事業ト云フ如キモノハ、國內全般ニ知ラシメテ、日本ノ教育ノ方針ハ斯ノ如  
クデアル、高等教育會議ノ議論ハ斯クノ如キモノデアルト云フコトヲ、一般  
ニ知ラシメタイト思フノデゴザイマスルカラ、此祕密會議ト云フコトハ、是  
非トモ廢メテ貰ッテ、是ハ當リ前普通公會ニスベキ性質ノモノデアル、若シ  
必要ガゴザイマスル場合ニハ、何時ニテモ其議決ニ依テ、祕密會ニスルコト  
ガ出來得ルノデゴザイマスカラ、斯ノ如ク改正ヲシタイト思フノデゴザイマ  
ス、要ヲ申セバ以上ノ通デアリマシテ、果シテ吾々ノ希望ノ如ク、此高等  
教育會議ノ組織ヲ改メテ、文部省ガ實際教育社會ノ輿論ヲ集メテ之ヲ實行ス  
ルコトヲ求ムル譯デゴザイマスルカ、果シテ此通ノ吾々ノ希望ノ通文部省ガ  
スル積デアルナラバ、今日ノ組織ヲ以テ完全ナリトスルカ、若シ此儘デ可ナ  
リトセバ、前ノ文部大臣ガ言フタ如ク殆ドコンナモノナラバ、高等會議ヲ  
設置シナイデモ、大臣ハ何時デモ人ヲ集メテ諮詢會ヲ開クコトガ出來得ルノ  
デアルカラ、吾々ハ殊更ニ高等教育會議ガ出來ルト云フコトヲ感謝スル譯ニ  
ハ往カナイノデアリマス、一言質問ノ主旨ヲ述ベテ置キマス  
○議長（鳩山和夫君）是ヨリ本日ノ日程ニ入りマス、日程第一、昨日ノ會議  
ニ引續キ、新聞紙條例中改正法律案ノ全體ヲ議題ト致シマス

○小松三省君(八十番) 昨日本員ガ政府委員ニ質問ヲシテ、未ダ御答ヲ得ヌ  
先キニ閉會ニナリマシタ、今日ハ其事ニ就イテノ御答辯ヲ願ヒタイト思<sup>シテ</sup>  
居リマスガ、政府委員ガモウ御分リニナッテ居レバ、再ビ述ベヌデモ宜シイ、  
直チニ御答ヲ得タイト思ヒマス、若シモウ一度言フ必要ガアルナラバ、此デ  
述ベテモ宜シウゴザイマス

(政府委員法制局長官神鞭知常君演壇ニ登ル)

○政府委員(神鞭知常君) 小松君ノ御質問ハ、三千條ノ罰金ガ實際裁判ニ於  
テ、ドウ云フヤウニ用ヒラル、ヤト云フ御質問ト思ヒマスガ、昨日モ申シマ  
シタ通リニ、アレハ既ニ委員會ニ於テモ議論ノアッタ箇條デゴザイマシテ、  
殊ニアレハ委員ノ方デ出來タ案デゴザイマスカラ、ドウカ是ハ委員カラ御答  
ヲ御求メニナルヤウニ致シタウゴザイマス、私ハ昨日御答ヘ申シタト同ジ意  
味ダケニ御答ヲ止メマスデゴザイマス

○小松三省君(八十番) 一寸御待チヲ願ヒマス

○工藤行幹君(百九十七番) 昨日此二十三條ノ停止ト云フノハ、禁止ノ誤リ  
ダト云フコトヲ言ヒマシタガ、是ハ全ク私ノ心得違デゴザリマシタカラ、再  
ビ昨日ノ正誤ヲ取消シマシテ、本文ノ通りニスルト云フコトヲ御断リ申シテ  
置キマス

○議長(鳩山和夫君) 承知致シマンシタ  
○小松三省君(八十番) 一向政府委員ノ御答ハ要領ヲ得ヌヤウニ思ヒマス  
ガ、御尋シタノハ此三十條ノ罰金ガ勵ク場合ノコトデゴザリマスルガ、即チ  
此二十一條ノ停止ヲ犯シタ場合ニモ、若シ此各本條ニ對スル事犯ガ罪ト爲ラ

ス場合ニ於テハ、當然同一ノ事項若クハ論說ヲ記載シタモノノデナイト云フコトニナシテカラ、此二十圓以上五百圓以下ノ罰金ト云フ、行政命令ニ背クト云フ制裁ハ消滅スルト云フ場合ニナリマスガ、其御答ヲ願ヒタウゴザリマス

○政府委員(神鞭知常君) 委員デ出來タ案デゴザリマスカラ、委員衆カラ御聽キフ願ヒマスト申スデアリマス

○小松三省君(八十番) ソンナラ、政府委員ニ於テハ此事ニ就イテハ御意見ガナイト云フナラバ宜シウゴザリマスガ、政府委員ニ御意見ガアルナラバ承リタイ

○政府委員(神鞭知常君) 前申シタ通

○小松三省君(八十番) 御意見ガナケレバ致方ハゴザリマセヌ、ソレナラバ委員長ニ御尋ヲ致シマス

○工藤行幹君(百九十七番) 何デゴザリマシタカ、確ト承リタイ

○小松三省君(八十番) モウ一度、ソレデハ申シマセウ、此三十條デゴザリマスガ、三十條ノ規定「第二十一條ノ停止ヲ犯ストキハ發行人編輯人ヲ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス」ト云フコトハ、チヨット見レバ明瞭ナ如クデゴザリマスルガ、此法條ハ誠ニ錯雜ヲシタ法條デアル、即チ此二十一條ノ停止ヲ犯シタル場合ニハ、停止ヲ犯シテ論說ヲ記載シ、事項ヲ記載シタト云フ罪ト、サウンテ行政命令ニ背イタト云フ罪ト二重ニ受ケナケレバナラヌ場合デゴザリマスルデ、其條ハ專ラ行政命令ノ罰ヲ茲ニ規定シテ、行政命令ニ背イタトキノ罰ヲ規定シテアル、即チ事犯ニ關スル罰ハ各本條ニ依ッテ受ケ、行政命令ニ背イタト云フコトニナツテ居ルノデゴザリマスガ、然ルニ行政命令ト云フモノハ、時ニ依ッテ罰セラル、モノデゴザリマス、始テ告發ヲシタコトモ罪ト爲ラヌコトガアリ、次ギニ其論說事項ヲ記載スルコトヲ停止シテ記載シタコトモ亦罪ト爲ラヌコトガアルハ、即チ告發ヲセラレタ事犯モ、後ニ生ジタ事犯モ共ニ罪ト爲ラヌ場合ニ於テハ、此三十條ノ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ト云フ行政命令ニ背イタ罰ハ、當然解除セラレテシマフモノデアルカ、又ハ初ノ事犯モ後ノ事犯モ罪トナラヌ時デモ、尙ホ行政命令ニ背イタト云フ罰、二十圓以上五百圓以下ノ罰金ト云フモノハ、編輯人發行人ノ上ニ加ハルモノヤ否ヤト云フ御尋デゴザリマス

○工藤行幹君(百九十七番) 御答致シマスルガ、是ハ能ク唯今ノ質問スル方ガ能ク御承知ノコト、思ヒマスデゴザイマスガ、御承知ノ通既ニ委員會ニ於テ、アナタノ御修正ガアッテ、其御修正ト云フモノハ、事犯ノ成立シタトキニハ罰ヲ受ケルモノデアルト云フコトノ意味ニ、此文字ヲ書直シタイト云フアナタノ御説ガ、修正説が出タノデアル、然ルニ委員會ノ多數ハ、無論此事犯ノ成立タナイトキニハ、其行政命令ノタメニ罰ヲ受ケルト云フコトハナカラウ、サリナガラ此文章ヲ事犯ノ成立シタ時ニ限リテト云フヤウナ意味ニ之ヲ書クコトハ不必要デアルカラト云フコトデ、多數ハ斯ノ如ク決議シタト思ヒマス、併シ人ノ意中ハ存ジマセヌ、委員長ハサウ云フ意味デ多數ガ決議ニナツタコト、承知ヲ致シマス

○小松三省君(八十番) 今ノ委員長ノ御答モ、頗ル明瞭ヲ缺クノデゴザイマスドウモ多分斯ウ云フヤウニナルデアラウト云フヤウノ法條ヲ持ヘラレテハ、誠ニ私ハ困ルト思ヒマスカラ、モウ一應質問シテ置キタイ、法律ハ明瞭ナルコトヲ要スルモノデアルカラ、當然此事犯が罪ト爲ラナイ時分ニハ、行政命令

ニ背イタ罰ハ當然消滅スルモノデアルカ、ドウカト云フコトヲ明ニ規定シテ置カナケレバ、唯ドムナルデアラウカ、多分斯ウナルデアラウト云フヤウナ不確定ナコトデアルカラ、此法條ヲ存スルト云フコトハ誠ニ困ルト存ジマス、本員ハ此事ニ就イテハ別ニ意見ガゴザイマスガ、ドチラカ意味ヲ判然ト御答ヲ願ヒマス

○谷澤龍藏君(百八十九番) チヨウト小松君ニ御相談ヲ致シマスガ、此案ハ否決ヲシタコトデアルンデス、是ハモウ意味合ト云フモノハ、其節ニ能ク分シテ居ルコトデアリマスカラ、更ニ動議トシテ御出シニナツタラ宣カラウ、或ハ政府委員ニ質問ヲシテ見、或ハ委員長ニ質問ヲセラレタ所ガ、到底際限ガナイ話ト思フ、意味ハ委員會ニ分シテ居ル、詰リ無罪ト爲シテモ行政命令デアルカラ擊ツト云フガ、ソレハ甚ダ穩ナラヌコトデアルカラ、無罪ト爲シタ時ニハ共ニ擊ツヤウニシテ……無罪トカ云フ時ニ擊タヌヤウナ明文ヲ入レルハ隨分必要ナコトデアルカラ、本員杯ハ贊成シタ……是ハドウカ動議トシテ御出シニナツタ方ガ宜カラウ、是マデモ斯ノ如キ必要ハ殆ド無用ナコト、思ヒマスカラ……

○小松三省君(八十番) 本員ハ必ズ動議ハ出ス積デアルケレドモ、其意味ガドチラカ判然シナイト出スコトガ出來ヌ、ソレガ故ニ此意味ヲ明ニシテ吳レト云フノデゴザイマス、ドチラカ行政命令ニ背イタト云シテモ、事犯ガ罪ト爲ラヌ時ニハ、行政命令ニ背イタ罰金ハモウナイモノデアルカ、或ハ行政命令ニ背キサヘスレバ、事犯ガ罪ト爲ラズトモ罰金ハアルカ、此二ツノ白カ黒カドチラカノ返答ヲサヘ願ヘバ、ソレデ澤山デゴザイマス、動議ハ後トデシマス

○小西基之助君(二百九十三番) 唯今議シテ、アル所ノ議案ノ範圍ニ就イテ御尋ヲ致シマスルガ、委員會ノ報告セラレタ案ハ、即チ「別冊ノ通修正ノ上可決スヘキモノナリ」ト云フ、此文字ノ如ク別冊ノ案ガアルノデゴザイマスガ、此別冊中ニ於テ唯條ノ繰上ゲ或ハ繰下ゲヲ爲シタニ止マッテ現行法ト少シモ變ラナイ條ガアルデゴザイマスガ、サリナガラ苟モ別冊ノ通云々ト云フ文字ノ下ニ配置セラレマシタ案デゴザイマスルガ故ニ、縱令現行法ニ對シテ少心得テ宜シウゴザイマスカ、チヨウト其所ヲ……

○工藤行幹君(百九十七番) 議長

○議長(鳩山和夫君) 委員長カラ御答ニナルノデ宜シウゴザイマスカ

○小西基之助君(二百九十二番) ソレデモ宜シ

○工藤行幹君(百九十七番) 是ハモウ御斷リヲシテ置キマシタ通政府案ヲ本トシマシテ、政府案ニ對スル修正ノコトヲ委員會ニハヤツタノデゴザイマス、併シ是ガ大キニ條項が變ツテ來マシタカラシテ、之ヲ見ルニ便利ノタメニ斯ノ如キモノヲ持ヘタノデアルノデ、即チ政府案ニ對スル修正ノアル、後トノ箇條ダケノ變ツタモノヲ茲ニ掲ゲタノハ、便利ノタメニ茲ニ掲ゲタノデアルト云フコトヲ御断リヲシテ置キマシタ

○小西基之助(二百九十三番) 詰リ議案ト見ルコトハ出來ナイノデゴザイマスカ

○工藤行幹君(百九十七番) ソレハ議場ノ……

○元田肇君(百十二番) 緊急ノコトガ起リマシタ、昨日實ハ申述ベル筈デゴザイマシタガ、餘リ議長ガ議事ヲ急ガシ、滿場諸君モ急ガレタ結果ト云フヨリ外ハナイノデ、本員ノ希望致シマスルノハ、委員長ノ報告が既ニアリマシテ、箕浦勝人氏ノ提出案、並ニ本員ノ案ト云フモノヲ、委員會ニ於テ參照シテ、此修正案ガ出來タト云フ御報告ニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ議事日程ヲ見マスルト云フト、箕浦氏ノ提出案、本員ノ提出案ト云フモノハ、ズット後トニナツテ居リマスルガ、是ハ是マデ初期議會以來ノ先例ニ斯様ナ場合ニハ、即チ箕浦氏ノ案、本員ノ案モ共ニ、此場合ニ讀會省略杯ハ一向關係シマセヌガ、議題ニ御上ボセニナツテ、ソレカラ先キニ決ヲ採ルト云フコトハ議長ノ御都合デ宜シウゴザイマスガ、サウシテ御片附ケ下サルヤウニ願ヒタイ、如何ナモノデゴザイマス。

○議長(鳩山和夫君) 問ニ政府案ガ一ツアリマスノデ、今アナタノ仰シヤルコトハ便利ノヤウデアリマスガ、少シ取計ヒ惡イカト考ヘマス。

(此時折田兼至君「政府ノ同意ヲ得タラ宣シイ」ト呼フ)

○元田肇君(百十二番) 新聞紙條例中改正案ト云フノガ一ツ出テ居ルノデアリマスガ、是ヲナサル中ニ、實ハ本員ノト箕浦氏ノヲ茲ニ持ッテ來ルト云フヲ所ガ、別ノモノヲ持ッテ來ルノデハナイ、矢張一ノ法案ニ就イテ出ルノデアリマスカラ、サウ致シマセヌト、ドウモ政府案ヲ議了シテシマタ結果、或ハ本員ノハ、モヌケノ殻ニナツテシマフカモ知ラスト思フ。

○議長(鳩山和夫君) リンナラ日程變更ノ動議ヲ御出シ下サツテ、政府ノ同意ヲ得タ上デ、サウシタラ出來ヤウト考ヘマス。

○工藤行幹君(百九十七番) 此第一ノ議案ト云フモノハ、昨日ハ議事半ばニシテ休會シタノデゴザイマスルカラ、今日ハ昨日ニ引續イタノデゴザイマス、然ラバ初カラ議事日程ヲ變更スルノナラバ、是ハドウデモ議會ノ決議ニ依テ箕浦氏竝ニ私ノ案ト云フモノヲ決ヲ採ラレルヤウニ願ヒタイ。

(「日程變更ニ賛成」ト呼フ者アリ)

○元田肇君(百九十七番) ソレデハ餘リ斯ヤウノ事ニ喙ヲ出シタクゴザイマセヌガ、議事日程ヲ變更シテ、政府案ト修正案ニ就イテ決ヲ採ラレル時分ニ、併テ箕浦氏竝ニ私ノ案ト云フモノヲ決ヲ採ラレルヤウニ願ヒタイ。

(「日程變更ニ賛成」ト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 日程變更ノ動議ハ、討論ヲ要セズシテ採決スルコトニナツテ居リマスカラ、直チニ採決シヤウト考ヘマス。

○議長(鳩山和夫君) 異議ガ大分アルヤウデゴザイマスカラ採決ハ起立ニ問ヒマス、日程變更ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス。

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、直チニ政府ノ同意ヲ得ル手續ヲシマス。(此時政府ニ同意ヲ求ム)

○早川龍介君(二百四十一番) 議長……

○議長(鳩山和夫君) 今ナニモ議題ハナイノデスガ、何ニ就イテミスカ

○早川龍介君(二百四十一番) チヨット承リタイノハ、唯今ノ小西君カラノ質問ガアリマシタカラ、ソレデ判明スルカト考ヘテ居リマシタ所、尙ホ少シ不明瞭デアリマスカラチヨットチヨット

○議長(鳩山和夫君) 宜シウゴザイマス。

○早川龍介君(二百四十一番) 唯今小松三省君デアリマシタ、本案ノ辯明ヲ政府委員ニ求メラレマシタ所、政府委員ハ此議案ハマルデ變化シテシマツテ居ルカラシテ、ヨチラカラハ是ニ答辯ヲセヌト云フ、然ラバ是ハ政府案ト看做スノカ、或ハ提出案デアルカ、今政府委員ガ其答辯ヲ辭シテ去ラレタ形勢ヲ見レバ、之ヲ政府案トシテ此處デ可決シタ時分ニ、政府ガ一向ソレニ贊成ヲセヌト云フヤウナ奇態ナ結果ガ起リハセヌカ、此特別委員會ニ於テ、政府ハ此案ニ決スレバ無論異議ハナイト云フコトデ同意ヲ表シタ以上ハ、無論政府ハ此案ニ就イテ答辯ヲセラレル責任ガアルデアラウ、若シソレガナイト云フト、原案ノ如クデアラツテ原案ニアラザルヤウナ結果ヲ生ジテ、誠ニ奇態ナモノガ茲ニ出來ルト考ヘル、ソレハ委員會ニ於テハ政府ハ之ニ御贊同ヲシテ、ソレガ同意デアラツタ以上ハ、即チ政府モ贊成スルコトガ出來ル譯デ、若シサウデナケレバ政府案ヲ廢却シテ、既ニ委員諸君ガ又更ニ建議案デモ出サレルト云フコトニナラナケレバ、餘程異様ナモノガ茲ニ出來スルカト思フ、政府案ヲ贊成シタガ、政府ハ同意セヌデカラニ其事ガ一向行ハレナイコトニナル、其邊ヲチヨット簡單ニ承ツテ置キタイ。

○議長(鳩山和夫君) 今早川君ノ質問ニ對シテ、政府委員カラ答ヘラレルデアラウカト考ヘマスガ、其前ニ御報道致シマスルガ、政府ハ日程變更ニ同意スルト云フコトデゴザイマス、ソレデ今日ノ日程第六、第七ハ併テ議題ト爲ドチラカ分ラヌケレバ困リマス、ドチラカ極テ御答ヲ願ヒタイ。

○沼田宇源太君(二百六十九番) 先程カラ小松君カラシテ、政府委員竝ニ委員長ニ大變エライ御質問ガアルノデゴザイマスルガ、ソレハ幾ラ聽イテモ分ラヌ皆デアル、ナゼ分ラヌカト言ヘバ、小松君ハ十分此事ハ分ツテ居ル、分ツテ居ツテ聽クノデアルカラ、幾ラモ聽クコトガ出來ルノデアル、ソレデ惟フニ小松君ハ、後トテ修正案ヲ御出シニナルト云フ下指ヘデアラウト思ヒマス、デアルカラ、餘リ其質問ハ幾度聽イテモ同じシコトデアルカラ、同じ質問ヲ小松君ハナサラヌデ出ス所ノ修正案ハ御出シ下サレタ方ガ、御人ガ善カラウト思ヒマス。

○小松三省君(八十番) 愈々曖昧デ、ドチラカ分ラヌト云フナラバ、更ニ質問ヲ止メテ其動議ヲ出シマス、分ルナラ御答ヲ願ヒタイ。

○德増源太郎君(五十九番) 本員ハ此新聞紙ニ對スル委員ノ修正案ニ就キマ

## 第六 新聞紙條例改正法律案(箕浦勝人君外二名提出)

## 第七 新聞紙法案(元田肇君提出)

## 第一 論會ノ續

第一 論會ノ續  
第一 論會ノ續

シテ、一應政府ニ確メタイ、幸ニシテ委員ノ修正案ガ本日本院ヲ通過致シマシテ、他日貴族院ノ議ニ上ボリマシタル曉ニ於テ、政府委員ハ誠心誠意ヲ以テ親切ニ、本案ヲ貴族院ヲシテ通過セシムルコトニ盡瘁セラル、カ、如何ト云フコトニ就イテ一應御確メ致シテ置キタイ

○早川龍介君(二百四十一番) 私ノ質問ニ對シテモ、併テ政府委員カラ御答辯ヲ願ヒマス

○早川龍介君(二百四十一番) 神鞭君ハ御留守デアリマシタカラ、今一應簡單ニ述ベマス、詰リ本案ハ委員ノ修正ニナリマシタモノガ、政府ガ同意デアルナラバ、即チ政府案トシテ御説明ニナツテ宜シイ筈デアラウト思フ、ソレヲ御答辯ガナケレバ或ハ御不同意デアツタカ、若シサウナラバ即チ政府案ノ意思トハ丸デ違ッタモノガ出來ルカラシテ、不同意デアルト云フ結果ニナル、サウスルト此議會ガ政府案トシテ賛成シテ通過シテ、事實ハ行ハレナシダト云フヤウナ奇怪ナコトガ起ルカラ、其邊ヲ一度御尋申シマス

(政府委員法制局長官神鞭知常君演壇ニ登ル)  
○政府委員(神鞭知常君) 早川君ノ御尋ニ答ヘマスガ、委員會ヘ政府ガ答ヘマシタコトハ、定テ御承知ニモナツテ居リマセウガ、政府ハ此修正案ニ對シテ、昨日工藤君モ述ベラレマシタ通、政府ハ政府ヨリ提出シテアル議案ノ通過ヲ希望致シマス、併ナガラ若シ委員ニ於テ修正セラレタル議案ガ、貴衆兩院ヲ通過スルナレバ、政府ハ敢テ反対ハシマセヌ、斯ウ云フ意味ヲ以テ答ヘテゴザイマス、而シテ政府ハ政府ノ提出案ガ出シテマリマスルカラ、其提出案ヲ通過スルコトヲ希望スルハ無論デゴザイマスケレドモ、斯ノ如ク御答ヲシタ所以ノモノハ、御承知ノ通此案ト云フモノハ、積年ノ行掛リニナツテ居リマスルモノデアリマスルノデ、政府ハ成ルベク輿論ヲ容レマスル積デアリマスルカラ、右御答ニ及ンダ譯ニアリマス、ソレ故ニ政府ノ其言葉ニ、政府ハ政府ノ提出シテ居ル議案デ通過ヲ希望スルト云フ言葉ニ對シマシテ、此議院ノ委員衆カラ出タ案ノ説明ハ、成ルベク委員衆ノ方カラシテ御貰ヒ申シテ置ク方ガ宜シイト存ジマスルノデ、最モ貴族院ヘ回ツテ今ノ御答ト丁度コチラノ五十九番ノ御答ト丁度合シマスガ、貴族院ニ回ツテ當院ノ通過シタ案ニナツテ參リマスレバ、今承ル説明ハ、委員會デ聽落シタ分モ、尙ホ明ニ分ルト思ヒマスカラ、説明スル場合ニハ餘程都合ガ宜イトイ思ヒマスルデ、尙更色々ムツカシイ質問ハ委員衆カラ答ヘテ貰ツテ置イテ能ク覺エテ、サウシテ能ク分ルヤウニ説明ヲシタイト本員ハ思ヒマスルノデゴザイマス、ソレカラ貴族院ニ向ツテ親切ニ此案ノ通過ヲ望ムカト云フコトニ就キマシテハ、前申述ベマシタ通りアリマスルカラシテ、政府委員ハドノ案ニ對シテモ、常ニ衆議院ヲ通過シタ案ヲ持ツテ往キマスルトキニハ、及ブダケ親切ヲ盡シマスル

ト同一ノ親切ヲ以テ勵キマス積デゴザイマスガ、ドウカソレハ總テノ議案ニ就イテ同一デゴザイマスカラ、左様御承知ヲ希望致シマス  
○重岡薰五郎君(百十五番) 唯今神鞭政府委員ノ説明ヲ聽キマスレバ、委員ノ修正案ニ就イテハ敢テ反対モシナインアルケレドモ、併ナガラ政府ニ於テハ原案ノ通過スルコトヲ希望スル、又貴族院ニ於テハ普通ノ議案ガ通過シ就イテ同一デゴザイマスカラ、別段變タコトナシニ貴族院デ主張スル、斯ウ云フコトノ御  
辯ヲ願ヒマス

意見デゴザイマスルガ、是ハ極テ風ヲ擇ムヤウナ議論デゴザイマシテ、甚ダシテ、此議案ニ就キマシテ、所謂修正案ニ就キマシテハ、政府ガ衆議院ヲ通過シタ上ニ就イテ、貴族院ニ於テハ矢張原案ヲ維持スルコトヲ主張スルノアルカ、希望スルノアルカ、又修正案ガ通過シタ以上ニ於テハ、修正案ヲ専ラ通過セシムルコトニ、即チ貴族院ヲ務メル、斯ウ云フ意味デアルカト云フ事柄ハハツキリ御答辯ニナルコトガ極テ必要デアラウト思ヒマスカラ、再應ノ辯解ヲ煩シタイ

(政府委員法制局長官神鞭知常君演壇ニ登ル)

○政府委員(神鞭知常君) 重岡君ノ御尋ニ更ニ答ヘマスルガ、是ハ委員席デ丁度重岡サンモ御出デゴザイマシテ、草刈サンカラ御尋ガアリマシタ時ニモ、申述ベマシテゴザイマス、ソレカラシテ先刻五十九番ノ御尋ニ申述ベマシタ、之ガタメニ何モナシニ交渉トカ云フ様ナコトモナシニ通過シタ議案デゴザイマスレバ、何モコンナ問モ起リマスマイガ、分リキッタ話デアル、唯ア、云フ質問ガ、交渉ガアツテ其未成立ツタ案デゴザイマスル故ニ、政府ノ答ヘテ居ル言葉ニ照應スルコトヲ以テ答フルノガ、政府委員ノ職分デアリマス、ソレ故ニ先刻五十九番ニ答ヘタコトハ、本職ノ答フベキ限リト存ジマス、ソレ故ニドウカ風ヲ捕ヘルトカ、何トカ仰シヤラズニ、意思ハ自カラ知レテ居ルコト、思ヒマスカラ、ソレデ御承知ヲ希望致シマス、殊ニ委員席ニ御出デニナツタ諸君ハ、最モ能ク御承知デアリマスカラ、ドウゾソレデ御承知ヲ希望致シマス  
○波多野傳三郎君(二百八十三番) 先程議長カラノ御陳告ニ依リマスルト、本員等提出ノ案モ、元田君提出ノ案モ、政府案ト共ニ議題ニ供セラレタト云フコトデゴザイマスルガ、本員等提出案モ、亦元田君提出案モ、共ニ讀會省略ヲシタト云フニ了解シテ宜シウゴザリマセウカ、左様デアルナレバ、本員ハ此處ニ直チニ修正ノ動議ヲ提出致シタイト思ヒマス  
○議長(鳩山和夫君) 日程第六、竝ニ第七ト云フモノハ、併テ議題ト爲スト云フコトハ宣告致シマシタガ、マダ是ニ就イテハ讀會省略ノ動議ガアリマセヌカラシテ、自然普通ノ讀會ノ方法ニ依ツテ議サレベキモノト考ヘマス  
○工藤行幹君(百九十七番) 議長……  
○議長(鳩山和夫君) 波多野サン、モウ済ンダノデスカ  
○波多野傳三郎君(二百八十三番) ソレデアルナレバ、既ニ第一ノ日程ガ讀會省略ニナツテ居リマスレバ、其他モ讀會——其他ト云フノハ、本員等提出ノ案、竝ニ元田君ノ案モ讀會省略ノシテ、此處ニ同時ニ議スルコトヲ本員ハ希望致シマスルガ故ニ、此動議ヲ提出致シマス  
(賛成ト呼フ者アリ)  
○工藤行幹君(百九十七番) 唯今能ク分リ兼ネマシタガ、サウスルト此政府員會ノ結果ヲ報道致シマス、簡単デゴザイマスカラ、此處デ——是ハ昨日セ申述ベタ通、幾ラカ此元田君箕浦君ノ出シタ案モ、箕浦君ノ出シタ案モ、共ニ議題ニナルノデゴザイマスカ

ヲ本トシテ議シタル以上ハ、他ノ二案ハ委員會ハ否決シタモノデゴザイマスカラ、此コトヲ報道致シマス  
○議長(鳩山和夫君) 波多野君カラ此日程ノ第六第七ニ就イテハ、讀會省略ノ動議ガ出マシテ、贊成ガアリマスカラ、採決シャウト考ヘマス  
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕  
○議長(鳩山和夫君) ソレデハ、讀會ヲ省略致シマス  
○元田肇君(百十二番) 修正ノ動議ヲ出ス前ニ、總體ニ就イテ通告シテアリマスカラ、殆ド成立タントシテ、僅ノ違ヒテノ通告デゴザリマス  
○波多野傳三郎君(二百六十三番) 修正ノ動議ヲ提出致シマス、本員モ委員ノ一人トシテ……  
○議長(鳩山和夫君) 波多野君、修正説ハ大體ニ就イテノ通告ガアルノデゴザイマスカラ、其後トニ願ヒタク  
○波多野傳三郎君(二百六十三番) サウデスカ  
○議長(鳩山和夫君) 元田君ハ、提出ノ理由ヲ陳ベルト、政府案簞浦案ニ反對ノ意ヲ  
○元田肇君(百十二番) 提出ノ理由ヲ陳ベルト、政府案簞浦案ニ反對ノ意ヲ  
陳ベルノト、一緒ニシテ陳ベタイト思ヒマス  
○議長(鳩山和夫君) 元田君  
〔元田肇君演壇ニ登ル〕  
○元田肇君(百十二番) 本員ノ此處ニ諸君ノ御清聽ヲ煩シマスルノハ、本員ノ提出シマシタ所ノ新聞紙法案ノ理由ト併テ他ノ二案ノ排斥シナケレバナラヌト云フ理由ヲ簡單ニ陳ベテ、演壇ヲ降リ積デゴザリマス、今日世間一般ニ先づ普通ノ有様ヲ見マスレバ、各新聞社ノ御方ハ、頻ニ自由ニナル様ニ、自由ニナル様ニト云フコトヲ希望シテ居ラレ、請願ナリ運動ナリスルト云コトハ、誠ニ熱心ニ努メラレテ居ラル、コトデアリマス、固ヨリ新聞社ニ當ッテ、是ニ反對スル所ノ案ヲ提出シタ者ハ、即チ本員デアリマス、本員ニ反対ノ御方ハ甚ダ御迷惑カハ存ジマセヌガ、斯ル滔々天下ノ形勢中ニ立ッテ、尙ホ且ツ之ニ反対スルト云フ本員ノ精神ニ就イテハ、少シク御聽キヲ願ヒタク考デゴザリマス、凡ソ法律ヲ設クル上ニ於キマシテ、ドナタモ御承知ノ通りニ、一國ノ制度文運ノ進歩シタトカ、ドレダケ進ンデ居ルカト云フコト、カ、最モ考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、故ニ學者アトリカラ見タ上ニ、或ハ哲學上ノ理論カラ見タ上ニ於キマシテハ、極ク公平ト見解ヲ異ニスル所ハ、今日ノ我國ノ國情民度ト云フモノガ、果シテ政府案ノ如クスルガ宜シイカ、簞浦案ノ如クスルガ宜シイカ、將ク本員ノ差出シタ所ノ案ノ如クシナケレバナラナイカト云フノガ、一ツノ問題デアラウト思ヒマス、現行新聞紙法案ノ不備デアリ、又ハ過酷ニアルト云フコトハ、今更論

ズル必要ヘアリマスマイ、然ルニ本員ノ提出致シマシタ案ハ、年々歳々新聞紙法案ガ提出ニナリマシテ、此衆議院ニ於テ、若クハ貴族院ニ於テ、評議ニ評議ヲ凝シタ結果、昨年デアリマスルガ、殆ド成立タントシテ、僅ノ違ヒカラ成立タナカツタ、即チ上下兩院ノ交渉ノ折合ガ附力ナカツタト云フタメニ、消滅シタコトガアリマス、是ガ凡ソ我國ノ今日ノ程度ニ適シタモノニアラウ、其上ニ今少シ改良ヲ加ヘテ、發行停止ト云フモノヲ三日ト云フコトニ減ジタ譯デアリマス、デ、今日ニ當ツテ我民度ガ進マスト、新聞紙アタリニ書クコト、云フモノガ、或ハ無責任デアルト云フヤウナコトヲ唱フルノハ、誠ニ私共唱ヘタクナイコトデアル、又怪シカラヌコトヲ云フコトハ、就中新聞社ノ御方ハ言ハレルダラウト思ヒマス、新聞記者タル御方ハ固ヨリ書クコト、云フモノバカリヲ支配スルモノデハナイ、全國ニアル所ノ、地方アダウデアルカト申シマスルト云フト、此新聞紙法案ハ最上ナル——最高級ニタル人ガアル、内外ノ形勢ニ通ジテ居リ德義モアル記者ガ皆居ルデアリマスガ、此新聞ニ署名シテ此刑ニ觸レ、此法律ヲ犯シタ時分ニ、罰ヲ受ケル者ハ何人デアルカト云ヘバ、決シテ此鋸ヤタル所ノ人デナイン、申スト甚ダ不都合デアルカハ知レマセヌガ、僅ニ些々タル所ノ給料等ヲ出シテ署名者ヲ雇フテ居ルト云フコトモ、萬々ナシトモ私ハ言ハレマイト思フ、若シモ署名ノ人が自ラ責任ヲ背負フテ書クト云フコトデアツタラバ、今日ハ固ヨリコト、後來ニ起ル新聞紙ニ於テモ、十分法律ヲ寛大ニ致シテ置テモ宜シカラト云ヘバ、責任ハ持タナイ、書ク人ハ變ツテ居ルト云フコトニナシテ居リマス、ソレ故往々府下大新聞ノ如キヘ始ク指イテ、小新聞デモ固ヨリ立派ナ記事バカリ書クノガアリマセウガ、全國ノ新聞紙ヲ見マスルト、寛大ニ、寛大ニ自由ニ放任シテ宣イカト云フト、私ハ今日ノ程度ニアツテハ、三日間發行停止ト云ヘバ、暫く責任ハ持タナイ、書ク人ハ變ツテ居ルト云フコトノヲ置イテ、之ヲ豫防スルト云フコトガ必要デアルト認メテ居ルモノデアリマス、デ、是ガ即チ今度改正致シマスル私ノ提出シタ所ノ案ノ趣旨デゴザリマス、此外ニ種々アル少々ノ改正ハアリマスガ、其骨子トスル所ハ茲ニアルノデゴザリマス、尙ホ且ツ不穏ノコトヲ——法律ニ觸レコトヲドシヤル、停止ヲ命ジナリレバナラヌコトヲヤルト云フニ至ツテ、初テ裁判所ニ訴ヘテ、裁判官ハ之ガ審理ノ未、禁止シナケレバナラヌト考ヘタ末ニ、禁止ノ權ヲ與ヘタノデアリマス、今日ノ政府案ヲ見マスルト、總テ禁止スルヤ否ヤノ問題ニ就イテ、其尙ホ且ツ不穏ノコトヲ——法律ニ觸レコトヲドシヤル、停止ヲ命ジナリレバナラヌコトヲヤルト云フニ至ツテ、初テ裁判所ニ訴ヘテ、裁判官ハ之ガ人文ガ發達シタカラ改良スルト云フ口實ノ下ニ、世ノ中ノ新聞紙ヲ動モスレバ、悉ク禁止ノ罷ニ陥ラセルヤウナコトガ出來得ル、即チ其惡弊ノ伴フ所ノ政府案デアリマス、諸君ハ發行停止ト云フコトガ止メレバ宜シト云フコトヲ、外ノ新聞紙アタリデモ、隨分見タ、今度ノ内閣ハ發行停止ヲ止メル、禁

止ハアッテモ可ナリト云フコトデアリマスガ、私共ノ考へハソレトアベコベ  
デ、例ヘバ懲役ト云フコトハ止メル、死刑ハアッテモ差支ナイト云フコト、  
同シデアリマシテ、是ニハ私共絶對的ノ反對意見ヲ持ッテ居ルノデアリマス、  
若シ發行停止ト云フモノガ、發行停止ハ行政權ノ作用ニ、私共ノ見立テ居ル  
發行禁止ハ、司法裁判所ノ職權ニ屬スルコト、シテ、區別ヲ立テ居リマス、  
此發行停止ガ皆無ナクナッテシマフト云フ結果ハ、私ハ今日デハ信ジマス、  
新聞社ノ利益デアルカト云ヘバ、決シテ利益デナクシテ大イナル害ヲ被ル原  
御察シフ願ッテ申述ベマセヌガ、是マデ内務大臣其他カラ告發ヲ受ケタ所ノ  
デアルト云フコトヲ確信シテ疑ハナイノデアル、其譯ハ甚ダ演壇デ堂々ト之  
ヲ述ベルノハ忍バヌコトデアリマスケレドモ、自分ノ新聞紙法案提出ノ理由  
ヲ茲ニ申述ベルニ就キマシテハ、已ムヲ得ヌコトデアリマス、餘リ委シクハ  
從事シタコトガアリマス、政府カラ告發シナイ問題ニ就イテハ、本員等  
ハ大イニ疑フ問題デモ、世ノ中ヲ刑ニモ觸レナイデ通ッテ居ルモノガアルト  
新聞紙ニアッテ能ク刑ヲ免レタトカ云フヤウナモノガ幾ツゴザイマスカ、本  
員ハ職辨護士ヲ致シテ居リマスカラ、隨分此等ノ問題ニ就イテハ、辨護ノ業ニ  
トハ、恐ラクハ殆ドナシト云フモ過言デハナカラウト思ヒマス、斯様ナ事實  
デアルト致シマシタナラバ、成程發行停止ヲ止メラレルノハ、有難イヤウデ  
ゴザイマスガ、彌々之ヲ廢止シテ法律ヲ實行スルト云フ場合ニ至リマスルト  
考ヘマス、苟モ告發サレタ問題ニシテ、其新聞紙ガ満足ニ助カツタト云フコ  
トハ、恐ラクハ殆ドナシト云フモ過言デハナカラウト思ヒマス、斯様ナ事實  
停止ヲシテ置イテ、サウシテ裁判所ニ持ッテ往ク、裁判所ハ其情狀ニ依ッテ禁  
止スルトハ書イテハゴザリマスガ私ハ恐ル、ノデアリマス、實際ノ經過ハ告  
發サレタモノハ、殆ド禁止ニナルト云フヤウナ將來ノ傾キニナラネバ宣イガ  
ト云フコトヲ大イニ恐ル、ノデアリマス、是ハ諸君ト吾ミガ觀察ヲ異ニスル  
カモ知レマセヌガ、既往ノ成績ニ就イニ見ルトキハ、今度ノ改正法ノ制裁ハ  
何カト云フト、禁止ト云フ制裁ガアルノミデ、發行停止ニ代ルベキモノデア  
ル、ソレ故ニ新聞紙ガ不都合ナコトヲシタト云フノデ、告發ヲスル、其結果ハ  
裁判官ガ何モ制裁ガナイカラ、禁止ト判決スル、但シソレハ不都合デアルト  
シテ、裁判官ガ禁止ト判決シナケレバ國家ノ慶事デゴザリマスガ、私ハ告發  
ル、位ノコトデアリマスカラ、即チ此間ニハ禁止ニ悉クナッテシマフト云  
フコトガ出來ハスマイカ、若シサウナリマスレバ、新聞紙ヲ保護スルタメニ  
法律ヲ改良ナヌツテ、其結果ハ我帝國ニ於テ五百年、六百年ト云フ長い歴史  
ヲ持ツテ居ル有力ナル新聞紙ハ、跡ヲ絶ッテシマフト云フコトニ詰リナリ  
ハスマイカト云フコトヲ、竊ニ恐ル、ノデアリマス、是ハ唯嚴酷ナ法律ヲ  
残シテ、アレハ保守家デアルカラ殘シテ置ケト云フナラントノ御感シハ少シ  
ク離レテ諸君ハ御聽キヲ願ヒタインデアリマス、隨分此事ニ就イテ、私ハ自  
分一個ノ營業上ヨリ、是マデ從事シタコトニ就イテ覺ガアル、其覺ノアルコト  
ヲ一々諸君ニ申上ゲテ置キマセウ、其覺エノアルコトハ、最近ノ事項ガ宜シ  
イ、彼ノ二十六世紀ニ就イテ、本員ガ辯護ニ出タコトガアル、東京朝日新聞ノ  
書イテアルカト云フト、伊藤内閣ノヤウニ華族ヲ澤山拵ヘテ、筈ノ生ヘルヤ  
ウニナツテハ遂ニ國家ノ紀綱ガ振ハナクナッテシマフ、斯様ナコトヲデカシ

ハ出來マセヌガ、政府ノ意見トシテ、若シモ斯ノ如ク委員會ノ如クナツテ往クノガ當然デアル、今日ノ民度ニ適シテ居ルト云フ、斯ウ云フ政府ノ自信ノ上ニ、飽マテ出サレテ主張サレルコトデアルナラバ、縱令私共ノ意見トハ絶對ニ反對デアッテモ、尙且ツ吾ミハ政府ノ行動ヲ多シト仕様ト思フノデアリマス、然ルニ政府ノ舉動ガ爰ニ出デズ、右デモ宜シケレバ左デモ宣シイ、斯ウ云フコトハ蓋シ私ガ推測致シマスレバ、政府ハ孰ヲ信ジテ居ルカ、國家ノタメト思フコトヲ見レバ、則チ政府ノ提出シタ案ノ通デナケレバナラヌト云フコトヲ、政府ハ必ズ内ニ確信シテ居ルデアラウト思フ、既ニ之ヲ確信シテ居ルナラバ、何故ニ之ヲ貫クコトヲ努メンカデアリマス、唯輿論ヲ容レルト云フノハ、已レノ所信ヲ貫クノデハナク、已レハ國家ノタメニ不利益ト信シテ居ルガ、多クノ者ガソレく言フカラ之ヲ容レヤウト云フノハ、寧ロ國家ニ對シテ不親切デアロウト思フノデアリマス、ソレカラモウ餘計ハ申シマセヌガ、モウ一ツ申シテ置クコトガゴザイマス、今度ノ政府案竝ニ修正案ニ就キマシテ、新ニ文字ノ加ハリマシタノガ、皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スト云フ文字デアル、他ノコトハ姑ク措キマシテ、成ル程昨日政府委員ノ申述ベラレル通リニ、刑法ニ於テモ、皇室ニ對スルコトガ記載シテアルガ、是ハ過去ニ制定シタル刑法ガ、今日其儘ニナッテ居ルノデアルカラ、ソレハ姑ク措キマシテ、我新聞紙法案ニ於キマシテハ、曾テナイノデアル、ナイノミナラズ、吾ミ議員ヨリ明治二十三年以來、幾多ノ新聞紙法案ヲ提出シタナレドモ、皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スト云フ如キ文字ヲ載入スルノ必要ヲ認メタノハ一モナイノデアリマス、然ルニ今度ノ政府案ニ至リマシテ、特ニ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スト云フ文字ヲ書入ル、ノ必要ヲ感ゼラレテ提出セラレタト云フコトハ、實ニ本員ノ慨嘆ニ堪エナイ所デアリマス、唯一條ノ四文字五文字ヲ入レルト言ヘバ格別デアリマスガ、我日本帝國ニ於テ、人文ノ發達シタ今日ニ於キマシテ、此文字ヲ加ヘナケレバナラヌ必要ヲ當局者ガ認メ、又本院マデモ之ヲ認メルト云フニ至ッテハ、實ニ慨嘆ノ至リニ堪ヘナイノデアリマス、過去ツタコトハ、實ニ本員ノ御記憶デゴザイマセウ、吾ミハ日本帝國ノ臣民ト致シマシテモ、一十六世紀ノ記者ト致シマシテモ、皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スル如キ不敬罪ノ成立スペキ該論文デナイト云フコトヲ確信スル者デアリマスシ、又一人モ左様ナ者ハナイト確信シテ居リマスガ、其嘆クシタ議論ノ囂々トシテアッタノハ、未ダ諸君モ御記憶デゴザイマセウ、吾ミハ日本帝國ノ臣民ト致シマシテモ、一十六世紀ノ記者ト致シマシテモ、皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スルコト云フコトヲ、此新聞法案ニ插入スルノ必要ヲ感ゼシメタ云フコトニ至ッテハ、日日新聞デアリマシタカ、何カ其他ノ新聞社ガ何カ利得アリマスシ、又一人モ左様ナ者ハナイト確信シテ居リマスガ、其嘆クシタル後ニ引續イタル議會ニ於テ、是マデ曾テ必要ヲ認メザリシ所ノ、皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スト云フコトヲ、此新聞法案ニ插入スルノ必要ヲ感ゼシメタ云フコトニ至ッテハ、日日新聞デアリマシタカ、何カ其他ノ新聞社ガ何カ利得アリマスシ、又一人モ左様ナ者ハナイト確信シテ居リマスガ、其嘆クシタル所ガアッタカシテ、極力二十六世紀ニ對シテ居リマスガ、私共ハ此新聞紙要ハナイ、是ハ斷ジテ御削リニナランコトヲ希望スルノデアル、又斯ノ如キ來ヲ憂フルコトニナツタノデアルト云フコトヲ断言サレテモ、否ムコトハ決シテ出来ナカラウト思フ、故ニ彼等ノ口實ヲ實ニスルト云フ修正案デアル、我帝國ニ於テハ是マデツイニナク、又今日以後ニ至ッテモ、斯ノ如キ文字ノ必要ハナイ、是ハ斷ジテ御削リニナランコトヲ希望スルノデアル、又斯ノ如キコトヲ入レテ、此改正ヲ致シマスノハ、本員ノ最モ反対スル所以デアリマス、

○德増源太郎君(五十九番) 諸君、此新聞紙ニ對スル本院ノ意見ハ既ニ確定シテ居ルト存ジマスガ故ニ、敢テ多辯ヲ弄スルノ必要ハナイト存ジテ居リマス、併ナガラ當第十議會ニ於キマシテハ、特ニ政府ニ向クテ一言ヲ致シ、反省ヲ請ヒ、猛省ヲ催シ置カナケレバナラヌト思フノデゴザイマス、諸君、昨年現内閣ノ組織セラル、ヤ間モナク松方總理大臣ニハ、各府縣ノ知事ヲ召集セラレマシテ、施政ノ方針ヲ訓示サレタル其中ニ曰ク「言論集會出版等憲法上人民ノ享有スヘキ權利自由ハ政府厚ク之ヲ尊重シ其保障ヲ堅カラシム云云」トゴザイマス、而シテ樺山内務大臣モ、是亦各府縣ノ知事ニ向クテ、施政ノ方針ヲ演説セラレタ其中ニ曰ク「言論集會出版等ニ關スル法律ニ就イテハ從來政黨ノ論ズル所ニシテ議會ニ於テモ常ニ問題ト爲レリ抑、人智未だ進マサルトキハ人民ノ權利行使ニ就イテハ多少ノ制限ヲ加フルノ必要アリト雖モ人智進ミ放任スルモ危險ナキニ至ルトキハ公安ヲ害セサル限ハ成ルベク人民ノ自由權利ヲ伸張セサルヘカラス云々」トゴザイマス、諸君、斯ノ如ク松方、樺山兩大臣ガ殊ニ各府縣ノ知事ニ向クテ、言論集會、出版ノ自由ヲ尊重スベシ、言論、集會、出版ノ自由ヲ伸張スペシト云フコトヲ、特ニ明示セラタル其意思ノアル所ヲ探究致シマスレバ、此施政ノ方針ヲシテ熟讀玩味致シマスルナラバ、勿論政府ハ當第十議會ニ於テハ、喜ンデ本案ニ同意ヲ表スルナラント存ジマス、況ヤ他年責任政黨内閣ノ建立ヲ主張セラタル、改進黨ノ首領大隈伯ガアル現内閣デアリマスガ、故ニ言論、集會、出版ト云フ三大自由ヲ擴張シテ、多年天下ニ唱道セラレタル、改進黨ノ首領ナル大隈伯ノアーラント存ジマス、況ヤ他年責任政黨内閣ノ建立ヲ主張セラタル、改進黨ノ公衆ニ對スル政治家ノ責任ヲ擔フテ以テ——勿論政府ハ當第十議會ニ於テ、喜ンデ本案ニ同意ヲ表スルナラント存ズルノデゴザイマス、併ナガラ若シ萬萬ニモ政府ガ本案ニ反對スルコトガアッタナラバ、曩ニ進歩黨ノ所謂「政界由來達言多シ不幸現内閣ニシテ我黨ノ所信ニ背キ徒ラニ其非ヲ裝ヒ其實ヲ美ニセサルモノ云々」ト云ブコトニナリハセヌカト思ヒマス、從テ松方、樺山、兩大臣ガ各府縣知事ニ向クテ、言論、集會、出版ノ自由ヲ尊重スベシ、言論、集會、出版ノ自由ヲ伸張スベシトノ宣言ハ、徒ニ己ヲ欺キ、天下國家ヲ欺クノ空文空言ニナリ丁ルト思ヒマス、從テ現内閣ハ羊頭ヲ懸ケテ狗肉ヲ賣ル者、牛頭ヲ懸ケテ馬肉ヲ賣ル者デアルト云フ、滿天下ノ譏ハ到底免ル、コトノデアルト云フ論告ヲシタルノヲ、表面ハ認メヌト雖モ、間接ニ之ヲ認メ、後シマス

○小室重弘君(二百九十六番) 段々御意見モ、ゴザイマスガ、私共ハ此新聞紙法案ニ就イテハ、既ニ委員會ニ於テ非常ナ討論ガゴザイマシタ、細カニ研究ヲ致シマシテ、此修正案ガ出來タモノデアリマス、彼ノ發行停止ヲ存スルト主張シテモ、或ハ全廢ヲ主張スルガ如キ——私ハ全廢論者デゴザイマスガ、今

日ニ於テハドウカ出來ル所マデヤリタイ、吾ミハ實行ヲナシ得ラル、所マデヤリタイト云フ、血ノ涙ヲ注イデ實ニ修正案ガ成立ッタ譯デアリマスカラ、諸君ハ此邊デ議論ヲ終結シテ、此委員會ノ案ヲ、滿場一致ヲ以テ通過セラレントコトヲ希望致シマス

○肥塚龍君(ハ十二番) 私ハ唯今ノ小室重弘君ノ御注意ノ如ク、本員ハ修正案ニ賛成スルモノニアリマスガ、元田君ノ先刻自分ノ案ヲバ主張セラレタコトニ就イテ、一言シテ置カナケレバナラヌト思ヒマス、唯是モ一言ダケデゴザイマスカラ、私ハ演壇マデ登ラズシテ、此處デ一言、元田君ノ折角ノ御持論デアルガ、更ニ採用スベキ價ナキモノト云フコトヲ一言斷言シテ置キタイト思フ、元田案デ見マスルト、此新聞紙法案ニ就イテ、政府案モ非ナリ、箕浦案モ非ナリ、唯取ルベキハ自分ノ一案アルノミト云フ御説ニアツテ、其中ニ要用ナル所ハ、三日ノ停止ヲ殘スト云フコト、ソレカラ六箇月以内ニ三回以上ノ停止ヲ受ケタルモノニハ禁止スルコトガ出來ルト云フ、其一ツデアツテ、政府案ト箕浦案トヲ破ル所ノ最良ノ武器トセラル、モノト見エル、三日間ノ停止ヲ留メラル、ト云フ理由ヲ承ルト、斯様ナル理由デアル、新聞紙ノ中ニハツレ相應ナル記者モアル、新聞紙モアルガ、又甚ダ不相應ナル新聞記者ノアルモノモアル、ソレカラ新聞紙面ニ署名シテ居ルモノハ、給金ノ安イモノト同時ニ、人間モ立派ノ人デナイ、併シ立派ノ人ハアルケレドモ、名前ハ出止コトニ至ラテハ、一向一寸先キハ喧闐ノ人ト私ハ思フノデアル、新聞紙ノ中ニサナイ、是等ノ不都合ガアルタメニ、三日間ノ停止ハ、今日ノ日本ノ國勢ニ於テハ置カナケレバナラヌ、斯ウ云フコトノ元田君ノ御演説ニアツタ、私ハ承クテ居リマスガ、元田君ハ辯護士トシテハ技倆ハ逞シクアラウガ、新聞紙ヲ見ルコトニ至ラテハ、一向一寸先キハ喧闐ノ人ト私ハ思フノデアル、三日間ノ停止ヲ置イタガタメニ、新聞紙ガ大變ニ善クナル、三日間置カヌ、停止ヲ全廢シタレバ新聞紙ガ惡ルクナルト、其善クナルト惡ルクナルトノ境目ヲ、三日ト云フコトデ仕切ラレテ、境ヲ附ケラル、ガ餘程不思議ナ境ノ置方デア止位デ、決シテ左右ノ出來ルモノノデハゴザイマセヌ、新聞紙ノ善クナルハ、三日間ノ停止ノ境デ、何故ニ新聞紙ガ善クナタリ惡ルクナタリスルカ、三日間ガアツテモ、一週間ガアツテモ、三日間ガナクトモ、一週間ガナクトモ、新聞紙ガ善クナリ惡ルクナルト云フコトハ、三日ヤ五日ノ發行停止ヲ置クタメニ、新聞紙ガ大變ニナツタ、除イタガタメニ新聞紙ガ大變粗末ニナツタ云フコトハ即チ之ヲ醫者ニ譬ヘテ見マスレバ、三文膏藥ヲ貼テ肺病ガ直ルト診察シタルト同ジ話ニナツテシマフノデアル、ドウシテ左様ナコトガ出來ルモノデハナイ、又三日ノ停止ニ依ツテ、サウンテ新聞紙ノ惡弊ヲバ止メルカトガ——廢止メルコトガ出來ルト云フヤウナ御考デアリマセウケレドモ、私ハ元田案ヲ見マスルト云フト、今度政府ノ出シタ案ヨリモ、現在ノ新聞紙條例ヨリモ、マダ恐ロシキ感情ヲバ私ハ起スノデゴザイマス、何故恐ロシキ感情ヲ起スカト云フト、諸君モ御承知デゴザイマセウ、此元田案ノ第十六條ニ斯様ニ書イテアル「第十三條第一號ノ規定ヲ犯シタルモノ又ハ第二號、第三號ノ規定ニ背キ六箇月以内ニ於テ三回以上ノ停止ヲ受ケタルモノニシテ當局大臣ノ告發アルトキハ裁判所ハ其情狀ニ依リ其ノ發行ヲ禁スルコトヲ得」ト、斯ウ書イテゴザイマス、是ガ餘程恐ロシキ話デ

○元田肇君(百十二番) 百十二番ハ、提出ノ理由ニ落チガゴザイマスカラ、チヨット辯明致シマス

○議長(鳩山和夫君) 宜シウゴザイマス

○元田肇君(百十二番) 私一人ノ提出デ、賛成モ餘リゴザイマセヌカラ、唯今肥塚君ハ流石ニ新聞事業ニ從事セラレテ、數年御出デナサルダケニ、新聞紙屋ノ方ノ辯護ニ至ラテハ、誠ニ巧ナコトデゴザイマスガ、ソレハ私ガ辯護士ノコトガ出タナラバ、十分辯護士ノコトニ就イテ、十分法律案ヲ辯護スルコトガ出來ルト云フコトヲバ、一寸述ベテ置キマス

(「討論終結」ト呼フ者アリ)

○元田肇君(百十二番) 百十二番ハ、提出ノ理由ニ落チガゴザイマスカラ、

私共現ニ新聞紙ニ從事シテ居ルモノカラ見マスルト、餘程ノ恐ロシキ是ハ案デアルト、私共ハ思フノデアル、何故恐ロシキ案デアルト思ヒマスルト云フト、半年間ニ三回以上停止ヲ受ケタルトキニハ、其情狀ニ依ツテ發行ヲ禁止スルコトガ出來ルト、斯ウ云フノデゴザイマス、是ハドウデゴザイマセウ、元田君モ定テ御忘ニナツタカモ知レマセヌガ、唯今ノ内閣ヲ辯護スル譯デモ何デモナイガ、唯今ノ内閣ニナリマシテカラ、此發行ノ停止ノ數ハ餘程減ッテ居ルノデアル、唯「二十六世紀」ノ時分ニハ、私共政府ノヤリ方ニハ甚ダ不同意デアルケレドモ、其外ニ發行停止ノ數ハ大分減ッテ居リマス、其以前ノアルモノモアル、即チ伊藤内閣ト呼バレタ時代ニハドウデゴザイマセウ、私共歷々記憶シテ居ル、一箇月ニ二回發行ヲ停止セラレタコトガ幾度モゴザイマス、一箇月ノ間ニスラ二回發行ヲ停止セラレタコトガ隨分アルノデゴザイマス、然ルニ六箇月以内ニ於テ三回以上ト、斯ウ云フノデゴザイマスカラ、此手段デヤツテ往キマスルト云フト、即チ斯ウナルノデアル、安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂セントスルモノ、陸軍大臣海軍大臣ガ特ニ命令ヲ發シテ禁止シタル軍隊軍艦ノ進退又ハ軍機軍略ニ關スル事項、此二ツ、即チ元田案ノ第十三條ニ臚列シテアル所ノ第二項第三項デゴザイマス之ニ觸レテ六箇月間ニ三回發行停止ヲ命ゼラル、ヤウナコトガアルト、禁止スルコトガ出來ルト云フノデアルカラ、若シ局ニ當ル人ガ、コイツハ甚ダウルサイヤツデアル、民權論ガドウシテ斯ウシテト言シテ、演説ヲシテ迴ツタリ、甚ダオレノ針路ヲ妨害スル者デアルト言フテ睨附ケラレタ日ニハ、一箇月ニ二回スラ随分發行ヲ停止シタルコトガアルノデゴザイマスカラ、六箇月間ニハ二六、十二回モヤルカモ知レマセヌ、斯様ノ時ニナリマシタ日ニハ、其當局者ノ考デ新聞紙ヲ何時デモ潰スコトガ出來ル、サウシテ「安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂セントスル」ト云フ、第十三條ハ第二項デゴザイマス、此範圍ハ甚ダ茫漠トシテ況イモノデ、之ヲ弘ムレバ六合ニモ彌ルト云フ……是ダケノ網ヲ張ッテ置イテ、其網ニ懸カッテ來タヤツハ、何時締殺シテシマフカモ知レナイゾト云フ、吾ミカラ見ルト此案ガ見エマスカラシテ、吾ミハ却テ元田案ノ此發行禁止停止ト云フヤウナコトニ就イテハ、意見ヲ懷ク者デゴザイマス、尤モ元田君ガ先刻演説セラレタ通、此元田案ハ此議場ニ於テ討死ヲスル覺悟デ打ツテ出ダト云フコトデゴザイマスカラ、無論討死ノスルニハ相違ハゴザイマセヌケレドモ、餘リ世間ノ事情ニ違ヒ、餘リ新聞紙ノ事情ニ違フタ說ヲ堂々ト此處デ述ベラレテ、得々然トセラル、ノハ、私ニ於テ黙止スルモノデアル、採用スベキモノデナイト云フコトヲバ、一寸述ベテ置キマス

ケレバナラナイノハ、恐ロシキコトガ元田案ニアルト云フ一事ニアリマス、是ハ一向私ハ法律ヲ讀ム上ニ於テハ、肥塚君ハ甚ダ幼稚ナリト云フコトヲ言ハナケレバナラナイ、第十六條ニ於テハ、二回ノ停止ヲ六箇月以内ニ受ケタルモノニハ、情狀ニ依テ發行ヲ禁示スルト云フコトヲ許シテアルカラ、大變デアルト云フノデアル……

○肥塚龍君(六十三番) 第十六條デゴザイマスカラ、十六條ト十五條ト御違ノナイヤウニ願ヒマス

○元田肇君(百十二番) 十五條、發賣頒布ヲ禁ズト云フノデ、發行停止デハゴザイマセヌ、第十六條ニ於テ、肥塚君ハ攻擊セラレタノデアル、然ルニ政府ノ原案ハドウデアリマス、委員會ノ修正ハ如何デアリマス、委員會ノ修正案ハ三回ハ愚カナコト、第一回ニシテ禁止スルコトガ出來ルト云フ法律ニナックテ居ルノデアリマス、凡ツ法律ヲ立ツル上ニ於テハ、此何回トカ重ナツタ上ニ於テ、即チ情狀ヲ見タ上デ、禁止ヲスルトカ、或ハ刑ヲ科スルトカ云フコトガ、即チ輕クシテ行クト云フ所ノ立法ノ立テ方デアラウト思フ、サウ致シマシテモ、此二十一條ヲ御覽ナサレバ、私ノ見ル所デハ、政府案ノ如キニ至ツテハ……

○肥塚龍君(六十二番) 議長ニ御尋シタインデスガ、一ツ會議テ同シ議論ガ出来ルモノデナイ、若シ出來ルモノナラバ、私ハモウ一度シタイ、同ジ人ガ同一ノ會議ニ於テスルト云フコトハ、甚ダ不同意デアリマス

○元田肇君(百十二番) 提出者ガ提出ノ理由ヲ補足スルコトニ就イテハ、幾ラモ先例ガアリマス、然ラバ提出ノ理由ト聽誤ラヌヤウニ是カラ辯明致シマス、唯今提出ノ理由ヲ辯明致シ掛ケマシタ所カ、痛ク反對論者ノ耳ニ障ラレタト見エマスカラ、反對論者ノ耳ニ痛クナイヤウニ、諱々ト提出ノ理由ヲ述ベマス、第十六條ニ於テ、斯ノ如キ案ヲ提出シタノハ本員ノ提出シタル理由ハ、三回モヤツタル上ニ、尙ホ重ナルト云フコトナラバ、情狀ヲ酌ンデ見テ、ドウシテモ是ハイケナイト見タトキニハ、始テ禁止ノ處分ニ至ルト云フ、寛大無邊ナル法案ニシタ譯デアリマス、猶又安寧秩序ト云フコトハ、大變恐ロシイト云フコトデアルガ、若シ恐ロシイト云フナラバ、區々タル法文ヲ奈何セシ、法文デハナイ亂暴ナコトヲヤラウト思フタラ、如何ナル事デモヤレルノデアル、安寧秩序ヲ妨害スルト云フコトヲ讀ンデ字ノ如ク法律相當ノ解説ヲ下シタナラバ、何ノ恐ル、コトガアリマセウ、之ニ附會シテ安寧秩序ノ妨害ニモナラヌコトヲ、政府が威力ヲ以テヤルコトニナツタナラバ、如何ナル法文ガアツテモヤル、是レ法文ノ罪ニアラズシテ、政府ノ罪デアル、ソレニ此文字ガ恐ロシイト云フノハ、蓋シ法律上ノ如何ナル言語ノ意味ガアルガト云フコトヲ解シ得ヌモノ、話テ、斯ル誤解ヲスルコトハ起ラヌモノト信ガ残タ、ソレハ何デアルカト云ヘバ、是カラ追々法律制度モ出來ルコトデアシテ、本員ハ提出シタ譯デアル、其上今一ツ申シテ置クコトガアリマス、ソレハ駿擊トカ、或ハ先刻來ノ言葉ガ出過ギマシタナラバ、ソレダケノコトハ茲ニ謝シテ置キマスガ、ソレデゴザイマセズ一つ、諸君ノ耳ニ訴ヘテ置クコトガ残タ、ソレハ何デアルカト云ヘバ、是カラ追々法律制度モ出來ルコトデアルモニ、アリマセウガ、目今ノ有様ナレバ、日本ノ行政警察ノ制度ハ如何デアル(工藤行幹君「ソレハ辯明テスカ」ト呼フ)行政警察ノ模様ハ如何デアル

○吉本榮吉君(二百五十六番)此論駁ハ各新聞紙ノ社説ニ譲ルコト、シマシテ、議長ヘ修正ノ通告ガゴザイマシタラ、ソレヲ議長カラ讀ンデ、早ク修正セシメ、而シテ直子ニ討論終結ニナルコトヲ希望致シマス

○(賛成討論終結ト呼フ者アリ)

○讀長(鳩山和夫君)修正案ノ提出者ニ御諮詢シマスガ、便利ノタメ順次採決シテ參リマシテ、修正ノアル箇條ニ至ラタ處デ、修正ノ御意見ヲ御述ニナッタラ如何カト考ヘマス

○議長(鳩山和夫君)然ラバ直チニ採決シマシテ、修正ノ場所ニ至ラタラ議長カラモ注意シマスガ、修正案ノ提出者モ能ク氣ヲ附ケテ居ラテ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ採決ノ順序ハ、政府案ニ就イテ先づ採決スル積リデアリマス、ソレガ若シ通過シマスレバ、從テ元田案竝ニ箕浦案ハ否決セラレタコトニナリマスカラ、御注意シテ置キマス

○元田肇君(百十二番)本員ハドウカ箕浦案竝ニ元田案ヲ採ルカ否ヤト云フコトヲ、一過御決シ下サヌタナラバ、餘程進歩ガ早カラウカト思ヒマス

○議長(鳩山和夫君)其方ヲ先キニデスカ——ソレハソレデモ宜カラウト思ヒマス、ソレテハ其方カラ片附ケテ參リマセウ、日程第六ニ就イテ決ヲ採リマス、是ハ讀會省略ト云フコトニナッテ居リマス、此案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

○議長(鳩山和夫君)少數ト認メマス、則チ否決セラレマシタ、其次ハ日程第七、即チ元田君提出ノ案デゴザイマス、此案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ望ミマス

○議長(鳩山和夫君)詰リ委員ノ削除ト云フノハ政府案ノ第十九條ヲ削除スルト共ニ、現行法ノ十九條モ削除スルト云フコトデアリマス、其通御承知ヲ頼ヒタク、削除ニ御異議アリマセヌカ

○肥塚龍君(六十三番)斯ウ云フ演説ガ御差止ガ出來ヌナレバ、本員も演説シマス

○吉本榮吉君(二百五十六番)此論駁ハ各新聞紙ノ社説ニ譲ルコト、シマシテ、議長ヘ修正ノ通告ガゴザイマシタラ、ソレヲ議長カラ讀ンデ、早ク修正セシメ、而シテ直子ニ討論終結ニナルコトヲ希望致シマス

○(賛成討論終結ト呼フ者アリ)

○讀長(鳩山和夫君)修正案ノ提出者ニ御諮詢シマスガ、便利ノタメ順次採決シテ參リマシテ、修正ノアル箇條ニ至ラタ處デ、修正ノ御意見ヲ御述ニナッタラ如何カト考ヘマス

○議長(鳩山和夫君)然ラバ直チニ採決シマシテ、修正ノ場所ニ至ラタラ議長カラモ注意シマスガ、修正案ノ提出者モ能ク氣ヲ附ケテ居ラテ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ採決ノ順序ハ、政府案ニ就イテ先づ採決スル積リデアリマス、ソレガ若シ通過シマスレバ、從テ元田案竝ニ箕浦案ハ否決セラレタコトニナリマスカラ、御注意シテ置キマス

○元田肇君(百十二番)本員ハドウカ箕浦案竝ニ元田案ヲ採ルカ否ヤト云フコトヲ、一過御決シ下サヌタナラバ、餘程進歩ガ早カラウカト思ヒマス

○議長(鳩山和夫君)其方ヲ先キニデスカ——ソレハソレデモ宜カラウト思ヒマス、ソレテハ其方カラ片附ケテ參リマセウ、日程第六ニ就イテ決ヲ採リマス、是ハ讀會省略ト云フコトニナッテ居リマス、此案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

○議長(鳩山和夫君)少數ト認メマス、則チ否決セラレマシタ、其次ハ日程第七、即チ元田君提出ノ案デゴザイマス、此案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ望ミマス

○(削除ニ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君)詰リ委員ノ削除ト云フノハ政府案ノ第十九條ヲ削除スルト共ニ、現行法ノ十九條モ削除スルト云フコトデアリマス、其通御承知ヲ頼ヒタク、削除ニ御異議アリマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) 然ラバ委員報告ノ通決定致シマス、第二十條、是ハ原案ガ一ツゴザイマス、波多野傳三郎君

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 異議ナシト認メマス、因テ其通決シマス、次ニ修正

案ガ一ツゴザイマス、波多野傳三郎君

○波多野傳三郎君(二百六十二番) 本員ハ茲ニ一ツノ修正ヲ致サウト思ヒマスノハ、現行法デハ第二十一條ガ、「外國ニ於テ發行シタル新聞紙ニシテ治安ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムル時内務大臣ハ其新聞紙ノ内國ニ於ケル發賣頒布ヲ禁止シ其新聞紙ヲ差押ヘルコトヲ得」トナフテ居リマス、畢竟本員等提出ノ案ト云ヒ、又政府提出案ト云ヒ、結局委員會ニ於テモ亦當議場ニ於キマシテモ、政府ノ修正案ヲ議題トスルコトニナツテ進行ク有様デゴザリマスレバ、委員會ノ報告シテ居リマスル案が多ク行ハル、ヤウニ見受ケラレマス、果シテ行ハル、モノト致シマシテモ、現行法ノ二十一條ヲ此儘ニ置キマスレバ、委員會ノ修正、則チ當議場ヲ將ニ通過セントシツ、アル所ノモノト、前後照應セヌモノト相成リマスルガ故ニ、本員ハ此現行法ノ第二十一条ヲ、聊カ文字ノ上ニ修正ヲ加ヘヤウト思ヒマス、其修正ハ如何ニスルカ

ト申シマスト、委員會ノ報告ノ二十一條ト稍々同ジヤウナ文體ニ直スノデアリマス、「外國ニ於テ發行シタル新聞紙ニシテ第二十條第三十一條第三十二條ニ達フモノアリト認ムルトキハ内務大臣ハ其新聞紙ノ内國ニ於ケル發賣頒布ヲ停止シ其新聞紙ヲ差押ヘルコトヲ得ル」ト、斯様ニ修正ヲシヤウト云フ考デゴザイマス、其理由ハ前述ベマシタ通格別變リハナシ、治安妨害ト云フヤウナ荒漠タル文字ヲ用フルコトノ代リニ、第二十條、第三十一條、第三十二條ニ明ニ書イテアル文字、即チ外務大臣、陸軍大臣、海軍大臣ガ外交軍事ニ關スルコトヲ禁ジタルモノヲ犯シタトカ、或ハ第三十一條ノ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スルコトヲ記載シ、又ハ朝憲ヲ紊亂セントスル論說ヲ記載シ、或ハ三十二條ノ社會ノ秩序又ハ風俗ヲ壞亂スルト云フヤウナ事項、即チ確定シタル文字、之ニ背イタ新聞紙ハ罰スルト云フコトニナレバ、前後照應シマスガ故ニ、本員等提出案ノ此議場ノ容ル、所ト爲ラヌ以上ハ、委員會報告ノ案ト前後照應スルモノト致サンガタメニ、前申ス如ク修正シヤウト云フ考デゴザイマス、幸ニ諸君ノ御同意ヲ得テ本院ヲ通過スルヤウニ致シタイト思ヒマス

〔賛成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 波多野君カラノ修正案ハ賛成ガ二十名以上アレバ成立シマスガ……

〔反對ト呼フ者アリ賛成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 成規ノ賛成ガアルト認メマスカラ、波多野君ノ修正ハ議題ト爲リマシタ

○折田兼至君(百二番) チヨウト波多野君ニ御尋シマスガ、サウシマスト、此第十九條ハ總テ外國ニ於テ發行シタル新聞ニ對スルデゴザイマス、第一條トカ「二十一條トカ、云フヤウナ文字ヲ改メルノハ、格別ト致シマシテ、其新聞ノ内國ニ於ケル發賣頒布ヲ停止シ、之ヲ差押ヘルコトヲ得ト云フコトニナルト、其停止ヲシタ結果ハドウナルノデゴザイマスカ、内國ニ於テ發行スルモノナラバ、内國ノ法律ヲ遵奉シテ居ルモノデゴザイマスカラ、處分ノ方

法モソレく此新聞紙法案ニ從ハナケレバナラヌ、而シテ内務大臣ハ、即チ第

二十一條ニ於テ記載シテアル如ク、其記載シテアル事柄ニ向ツテ、求刑スルコトガ出來ル、然ルニ第十九條ハ、今ノ波多野君ノ御修正ノ如クナレバ、求刑ノ道ガナイノデアル、畢竟此法律ヲ遵奉シナシ者ニ向ツテ、求刑スルコトガ出

來ナイカラ、波多野君モ其求刑ノ方法ヲ定メラレヌノデアラウト思ヒマスガ、斯様ノコトカラ考ヘマスト、自カラ「十一條ト十九條ト云フモノハ、別物ニ

多野君ハ此停ト云フコトヲ「禁止」ト云フ文字ヲ「停止」ト云フコトニ直シテ、其停止シタ結果ハ如何ニ處分スルト云フ御意見デゴザイマセウカ

○波多野傳三郎君(二百六十二番) 本員ノ考ハ此新聞ノ禁止停止ノ如キコトハ、一體行政上ノ處分トシテハ致サシメヌ、終局ハ之ヲ裁判官ニ任セルコトニシテ、恰モ他ノ犯罪ト同一ニ取扱フト云フ考デゴザイマスルガ故ニ、停止スル、其停止スル局ハ如何ニ結ブカト云フト、第二十條、第三十條、第三十一條ニ違フタ者ト認定スルト、内務大臣ガ認メタ時ハ、停止シテ假ニ差押ヘテ之ヲ無論裁判所ニ訴ヘル、其結局有罪ト爲シタトキニハ、之ヲ沒取スル、斯ウ云フ結局ニナルノデゴザイマス

○折田兼至君(百三番) ソレガ甚ダ氣遣ヒデゴザイマス、外國ニ於テト云フノデゴザイマスカラ、亞米利加デスルカ、ぶらじるデスルカ、英吉利デスルリマス、佛蘭西デスルカ知レナインデアル、其被告人ヲ日本ノ裁判所ニ向ツテ、一條ニ違フタ者ト認定スルト、内務大臣ガ認メタ時ハ、停止シテ假ニ差押ヘテ之ヲ無論裁判所ニ訴ヘル、其結局有罪ト爲シタトキニハ、之ヲ沒取スル、斯ウ云フ結局ニナルノデゴザイマス

○波多野傳三郎君(二百六十三番) 是ハ外國ニ於テ發行シツ、アルモノト云フコトデナク、内國ニ來ルモノデゴザイマスカラ、是ハ往クト云フ考デゴザカ、佛蘭西デスルカ知レナインデアル、其被告人ヲ日本ノ裁判所ニ向ツテ、直チニ求刑スルコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトニ就イテ、疑ガ起リマスカラ、

波多野傳三郎君ニ對シテ御尋ラスルノデスマスカ

○波多野傳三郎君(二百六十三番) 今ノ修正案ノ提出者ニチヨウト御尋シタイコトガゴザイマス、ソレナラバ此二十條モ矢張其中ニ御入レニナルト云フノデゴザイマスカ

本員ノ考デハ立派ニ行ヒ得ルト考ヘマス

○波多野傳三郎君(二百六十三番) 是ハ外國ニ於テ發行シツ、アルモノト云フコトデナク、内國ニ來ルモノデゴザイマスカラ、是ハ往クト云フ考デゴザイマス、即チ内國ニアルモノヲ、内國人が扱フ上ノコトデゴザイマスカラ、

波多野傳三郎君ニ對シテ御尋ラスルノデスマスカ

○波多野傳三郎君(二百六十三番) 這入ラテ居ル積デゴザイマス

○小松三省君(八十番) 委員會ノ報告ノ二十條ハ、御修正ノ中ニ這入ラテ居ルカト云フ問デアリマス

○波多野傳三郎君(二百六十三番) 二十條ハ現行ノ二十條デスカ、委員會報告ノ二十條デスカ

○小松三省君(八十番) 或ハ小松君ノ御注意ノ如キ場合ガアルカ、既ニ此外モ知レヌト思ヒマス、ソレハ本員深クソマデ考ヘテ居ラヌデゴザイマス、居テ、何ノ效能ガアルカ、殆ド私ハ此事ハ蛇足デハナイカト考ヘマスカラ、御

尋シテ置キマス

○波多野傳三郎君(二百六十三番) 或ハ小松君ノ御注意ノ如キ場合ガアルカ、既ニ此外モ知レヌト思ヒマス、ソレハ本員深クソマデ考ヘテ居ラヌデゴザイマス、居テ、何ノ效能ガアルカ、殆ド私ハ此事ハ蛇足デハナイカト考ヘマスカラ、御

尋シテ置キマス

○波多野傳三郎君(二百六十三番) 他ニ御議論モナケレバ採決シヤウト考ヘマスガ、反対ノ理由

ハ深ク述べナクテモ、既ニ質問シタ質問ノ理由ニ依ツテ分ルコトデアラウト思フ、波多野君モ言ハル、如ク、發賣頒布ヲ日本人ニ向クテ禁止スルコトハ出來マセウケレドモ、波多野君ノ御説ノ如ク、既ニ其外國デ記載シタ新聞記者マデモ罰セナケレバナラヌヤウナコトニ往カンケレバナラヌノデアル、サウ云フコトハ實際出來ナイコトデアル、此修正ハ到底修正シテモ行ヒ難キモノト思ヒマスカラ、現行法ノ儘デ適當ノモノト思ヒマス

○議長(鳩山和夫君) 採決シヤウト思ヒマス、波多野君ノ修正動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 少數ト認メマス、因テ波多野君ノ修正案ハ否決シマシタ、サウスルト政府案第二十二條、是ニハ委員會ノ修正ガアリマセヌ、原案ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 即チ原案通決定致シマス、政府案第二十二條、是ニハ委員會ノ修正ガゴザイマス、委員會ノ修正ニ御異議ハゴザリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 即チ一二十二條ハ委員會ノ修正ノ通決定シマス——次ハ現行法ノ第二十四條中ニ「裁判官」トアルノヲ「裁判所」ト改メルト云フ委員會ノ修正意見ガアリマス、是ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 修正ノ通決定致シマシタ、其次ニ小西甚之助君ノ修正

御意見ガゴザイマス小西甚之助君

○小西甚之助君(二百九十三番) 私ハ現行法ノ第二十五條ヲ第二十三條ト致

シテ、聊カ修正ヲ致サウト思フノデアル、此現行法ノ二十五條ハ、誣毀ノ訴

ノアッタ場合ニハ、被告人ニ事實ノ證明ヲ爲スコトヲ以テ、裁判

官ノ職權ニ一任シテアルコトデゴザイマス、故ニ此處ヨリシマスレバ、裁判

官ハ其事實ノ證明ヲ許スコト、許サナイコトハ、其方寸ニアルコトデアル、

是ハ私ノ從來甚だ遺憾トシテアッタコトデゴザイマシテ、折モアラバ、之ヲ擴張致サウト思シテ居ツタコトデゴザイマスガ、幸ヒ此條ニ遭遇致シマシタ

ガ故ニ、平素ノ希望ヲ達セんガタメニ、此處ノ修正ノ動議ヲ提出スルノデゴ

ザリマス、私ハ事實ノ證明ヲ許スコトハ、是ハ裁判官ノ職權ニ一任セズシテ、

寧ロ裁判官ノ職務トスル、即チ事實ノ證明ヲ許スベシト命令詞ニ改メヤウト致スノデゴザイマス、抑、此誣毀ノ罪ト云フモノハ、公罪ニアラズシテ私罪

デアル、即チ社會一般ニ對スル罪ニアラズシテ、一人一個ニ對スルノ罪デアル、斯ノ如キ罪質デアルニモ拘ラズ、苟モ其人ヲ害スルノ惡意ニ出デズ、又

専ラ公益ノタメニスルモノト認メタ時ニ於テハ、被告人ニ事實ノ證明ヲ許ス

コトニセラレタト云フモノハ、誠ニ是レ公益ト云フモノカラ割出シタモノデ

アツテ、公益ヲ敬重スルノ意ニ外ナラナイモノデアル、既ニ法ハ公益ヲ敬重スル上ヨリ、即チ公益ヲ割出シテ此事實ノ證明ヲ被告人ニ爲スコトヲ許スモ

ノデアルナラバ、更ニ一步ヲ進メテ、之ヲ許スト許サナイトヲ裁判官ノ職權ニ

一任せズシテ、寧ロ職務トシテ、苟モ人ヲ害スルノ惡意デナリ、公益ノタメニスルモノデアルト云フノ認定ガ附イタナラバ、事實ノ證明ヲ爲スコトヲ許ス

コトニ、法ノ上ニ於テ致シタイト云フノデゴザイマス、是レ全ク公益ヲ敬重

スル此法ノ意思ヲ推測シテ、之ヲ擴張スルニ外ナラナイコトデゴザイマス、ドウカ幸ニ此事ニ御賛成アラバ、獨リ本員ノ喜ビトスル所デナク、即チ公益的目的ヲ達スルニ於テ、大ナル所ノ利益ガアルト私ハ信ズル者デゴザイマス、○中島又五郎君(二十四番) 府縣制ノ委員會ヲ開キマスカラ、是ヨリ退席ヲ請ヒマス

○議長(鳩山和夫君) 諸君、御異議ガゴザイマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 宜シウゴザイマス——小西甚之助君ノ修正案ニ賛成ガアリマスカ——賛成ガゴザイセヌカラ、是ハ議題ト爲リマセヌ、其次ニ現行法ノ第二十六條ニ就イテ、小西君ノ修正案ノ提出ガゴザイマス——小西甚之助君

○小西甚之助君(二百九十三番) 此現行法二十六條ニ對スル修正ハ、全ク字句ノ修正ニ外ナラヌコトデゴザイマスガ、序テ、ゴザイマスカラ申シマスガ、此現行法第二十六條ノ第二項ヲ見レバ斯ノ如ク書イテアル「保證金ヲ以テ裁判費用賠償及罰金ニ充テタルトキハ云々」ト是ニ書イテアル、即チ第一ニ裁判費用ノコトヲ言ヒ、次ニ賠償ノコトヲ言ヒ、次ニ罰金ノコトヲ言フテアルノデアル、而シテ其前項ヲ見レバ如何ナル順序デアルカト云ヘバ「裁判費用及罰金ヲ完納セス又ハ損害ヲ賠償セサルトキハ云々」ト云フコトニナツテ居テ、即チ先づ裁判費用ノコトヲ云ヒ、次ニ罰金ノコトヲ云ヒ、次ニ損害賠償ノコトヲ云フテアルノデアル、然ラバ此前項ト文字ノ順序ヲ同一ニシナケレバナラナイト云フ趣意カラシテ、此第二項ニアル所ノ賠償ト云フ文字ト、罰金ト云フモノトヲ上下致サウト思フノデゴザイマス、是ハ別ニ賛成ト云フ程ノ價値モナリ位ノコトデアラウト思ヒマスガ、詰リ簡易ニ目的ヲ達シタラ宣イコトデゴザイマスカラ、異議ナシト云フ御説ガアッタナラバソレデ宜イノデゴザイマス

○議長(鳩山和夫君) 小西君ノ賠償ト罰金ヲ上下ニスルコトニ御賛成ガゴザイマスガ——賛成ガナイカラ議題ト爲リマセヌ、次ハ委員會ノ報告デゴザイマスガ、現行法ノ第三十條中「第二十一條ニ違ヒ」ト云フノヲ「第二十一條ノ禁令ヲ犯シ」ト改メル修正報告ガゴザイマス、委員會ノ修正ニ御異議ガゴザイマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) 小西甚之助君(二百九十三番) 私ハ現行法三十二條、即チ委員會修正ノ三十一條ニ就イテ聊カ改正ガアルノデアル、ツレハ……

○小松三省君(八十番) 議長、此三十條ノ……

○議長(鳩山和夫君) アナタノハ此次ニナリマス——小西君、宜シウゴザイマス

○小西甚之助君(二百九十三番) 「皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ」トアル此文字ヲ除キ

タイ、其理由ハ既ニ元田君ガ端緒ヲ開イタコトデゴザイマスガ、私ハ尙ホ此事

ニ就イテ、此除カナケレバナラヌ理由ヲ、聊カ補足致シテ置カウト思フノデゴザイマス。

○議長（鳩山和夫君）チヨヲト俟テ下サイ、小西君ノ修正ハ三十二條ニ就法第三十一條ノ次ニ左ノ一條ヲ追加スルコトニシテ下サイ——サウスルト、次ハ現行テナラバモウ少シ後ニ提出スルコトニシテ下サイ——サウスルト、次ハ現行ストキハ發行人編輯人ヲ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス」ト云フ委員會ノ修正ガアリマス、此際小松君ノ修正意見ヲ御提出ヲ願ヒマス。

〔此時小畑岩次郎君「三十一條ジャナイ二十一條アヘアリマセヌカ」ト呼フ〕

○議長（鳩山和夫君）現行法第三十一條ノ次ニ左ノ一項ヲ加フト云フノデス〔小松三省君演壇ニ登ル〕

○小松三省君（八十番）餘り長クハ申サヌ積デゴザイマス、暫ク御聽ヲ願ヒタイト思フ、此委員會ノ報告ノ三十條ヲ議スルニ當ツテカラ豫メ申シタイコトハ、本員ハ實ニ此委員會ノ修正ノ全部ヲ——全體ヲ贊成ヲスル者デゴザイマス、所謂此禁止停止制ヲ廢シテシマフテ、罰金制ニスルト云フコトハ、本員共ノ出シタ所ノ修正デゴザイマシテカラ、其上尙ホ多少ノ修正ヲ經テカラ、此案ノ成立シタト云フコトハ本員ノ喜ブ所デゴザイマスガ、此委員會ニ於テ交渉ノ結果——商議ノ結果、此二十一條ヲ加ヘルコトニナリマシタ、此二十一條ニ依リマスレバ、即チ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スルトカ、朝憲ヲ紊亂スルトカ、國體ヲ變改スルトカ云フヤウナ議論ヲ揭ゲテ、サウシテソラレガ告發ヲセラレタトキニ——内務大臣ヨリ告發ヲセラレタトキニ、其新聞紙ハ行政命令ニ依シテカラ、或ル期間再ビ其論說其記事ヲ新聞紙ニ掲グルコトヲ禁ズルト云フノ條項ガアル、此場合ニ於テカラ新聞紙ガ禁止命令ニ背イテカラ、サウシテ尙ホ停止セラレテ居ル記事ヲ、再ビ新聞紙ニ掲グタトキノ制裁ガ、即チ此三十條ニ出テ居ルノデゴザイマス、三十條ハ即チ二十一條ノ是が制裁ト見テ宜シイ、即チ二十一條ヲ犯シタ時ノ罰ト見テ宜シイ、即チ内務大臣ガ、或ル期間某ノ論說某ノ事項ヲ新聞紙ニ掲載スルコトハ停止スルト云フ命令ヲ發セラレテ、其命令ニ背イタモノハ、即チ此二十一條ノ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ヲ科セラレルト云フノ制ニナツテ居ルノデゴザイマスル、私が之ヲ修正ヲスルト云フノハ、ドウ云フ譯デアルカ、言ヘバ此三十條ト云フモノハ、表面ヨリ見レバ誠ニ穩ナ、穩當ナ法文デアルガ、併ナガラ深ク此三十條ヲ攻究シテ見ルト、誠ニ恐ルベキ刑罰ガ其中ニ加ハシテ居ルモノデゴザイマスル、ナゼカト言ヘバ、此論說此事項ハ、新聞紙ガ一度告發ヲセラレタ折ニハ、其事項其論說ハ掲載スル所が出來ヌト云フ、其命令ニ背イタ所スウ云フ場合ニ於テハ、始テ受ケタ所ノ告發ニ係ル事犯、ソレカラ次ニ停止ヲ犯シタ時ノ事犯、第三番目ニ行政命令ヲ犯シタト云フ罰、三箇ノ罰デ即チ新聞社ニ加ヘルコトガ出來ルノデゴザイマス、即チ若シ三百圓以下ノ罰金ヲ科セラレタ折ニハ、初ニ三百圓、次ニ三百圓、次ニ五百圓ト云フコトニナレバ、即チ一千一百圓ノ罰金ヲ科セラル、ト云フ結果ヲ見ルノデゴザイマスル、デ、成程此行政命令ニ背イテ、新聞紙ノ禁止ヲセラレタ事項ヲ掲グタモノヲ罰スルト云フコトハ宜シイ、絕對ニ本員ハ反対スル者デハナリ、併ナガラ行政命令ハ、必シモ不法ニ廢セラレヌモノニ限ラレヌモノデアル、又告發ト云フモノハ、必シモ鑑定達ニ依テ告發ヲセラレヌト云フコトモ圖ラレヌモノデアル、ソレデ内務大臣

臣、若クハ拓殖務省ノ大臣ガ、此事柄ハ、皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スルモノデアルト信ジテ告發シ、又ハ政體ヲ變改スルモノデアルト信ジテ告發ヲシ、又ハ朝憲ヲ紊亂スルモノデアルト信ジテカラ告發ヲシ、其他風俗壞亂、社會ノ秩序ヲ妨害スルモノト信ジテ告發ヲシテ、其告發ヲシタコトハ必シモ罪ニナルベキモノデアルト云フコトハ、斷定ノ出來ヌモノデアル、テ、次ニ又停止ノ命令ニストキハ發行人編輯人ヲ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス「ソレデ、斯ノ如キ法罰ヲ受ケタルトキハ尙ホ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス」斯ノ如ク文ニスレバ、停止ヲセラレテ尙ホ記載シタ事柄ガ罰ト爲ツテ、其條々ニ當ル所ノ罰ヲ受ケテ、刑ノ宣告ヲ受ケテ、有罪ト云フトキニハ、行政命令ニ背イテ、新聞紙ノ禁止ヲセラレタ事項ヲ掲グタモノヲ罰スルト云フコトハ正ヲスル（此時「今少シ緩ルト讀シテ下サイ」ト呼フ者アリ）宜シイ、モウ一遍讀ミマセウ「第二十一條ノ停止ヲ犯シタル發行人編輯人其各本條ノ處罰ヲ受ケタルトキハ尙ホ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ソレデ、斯ノ如キ法罰ヲ受ケタルトキハ専ホ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス「ソレデ、斯ノ如キ法罰ガ當タルノデアルガ、然ルニ此停止ヲ受ケテ記載シタ事柄ガ、同一ノ事項デナイトカ、同一ノ趣旨デナイトカ、又ハ罪ト爲ルベキコトデナカツタ折ニ

法ノ發シタ行政命令ガ、私ノ權利ニ酷ニ加ハラヌト云フヤウニナルコトガ成ルダラウト思ヒマス、デ、私ハ此修正案ヲ提出ヲ致シマスル、ドウカ是ハ成ルベク御賛成ニナルコトヲ希望スルノデアリマス

〔賛成キヤト呼フ者アリ〕

○谷澤龍藏君(百八十九番) 賛成シマス

○議長(鳩山和夫君) 小松君ノ修正ハ、定規ノ賛成者ガアルト認メマスルカ  
テ、讀題ト爲リマシタ

○小西甚之助君(二百九十三番) チヨウト小松君ニ質問致シマス、唯今御修

正ニトコトヲ承ルト、第二十一條ノ停止ヲ犯ストキハ發行人編輯人ヲ各

本條ノ罰ニ當テストキニ此二十圓以上五百圓以下ノ罰金ヲ科スルト云フコト

ニ(此時小松三省君「二百圓以下デスカラ」ト呼フ)宣シイ、二百圓以下ノ

罰金ハ處スルト云フノハ、發行人編輯人ガ一度各本條ニ依ツテ罰セラレタ

時テナケレバ、其二十圓以上五百圓以下ノ罰金ハ科セラレヌト云フ、斯ウ云

フ御修正ノ御趣意ト心得テ宜シウゴザリマスカ

○小松三省君(八十番) 左様デゴザイマス

○小西甚之助君(二百九十三番) ワレデゴザイマスレバ、私ハ遺憾ナガラ之

ニ對シテ反対ノ意見ヲ述べナケレバナラナイノデゴザイマス、是レ實ニ已ム

ヲ得ザル次第ゴザリマス、此第三十條ノ精神ト云フモノハ、第二十一條ノ

停止ヲ犯シタ時ハコレノノ罰ニ處スルト云フノテアル、故ニ苟モ停止ヲ犯

シタト云フ事實サヘアレバ、各本條即チ二十條ナリ、三十條ナリ、三十一

條ナリノ罰ニ逢フナリトモ、苟モ内務大臣或ハ拓殖務大臣ガ爲シタル行政的

命令上停止ヲシテ、其停止ヲ背イタト云フ時ニテ罰スベキ所ノ精神デアル

ト思フノデゴザリマス、果シテ然ラバ、今御修正ノ如クニセラル、ト此精神ヲ

或ハ無ニスルモノトナリハシマイカ、否ナ、斷ジテ無ニスルモノト私ハ信ズ

セラレテ、各本案ニ依ツテ罰セラレタ後デナケレバ、裁判ヲ加フルコトガ出

來ナイト云フコトニナフテハ、二十一條ノ停止ヲ犯シタ時ト云フコトヲ表面

ニ解釋シテドウモサウナラヌモノト思フノデアル、遺憾ナガラ茲ニ反対ノ意

見ヲ表シテ置キマス

○小松三省君(八十番) チヨウト辯明シテ置キマス、行政命令ノ效力ハアル

ノデス、事犯ノアツタ時ハ、即チ罰ヲ受ケタ時ハ行政命令ニ背イタト云フ罰

ヲ受ケル、然ルニ此拓殖務大臣或ハ内務大臣ガ不法ナコトヲ行政命令ヲ發シ

テ、サウシテ新聞屋ヨイデメテ裁判所ニ於テ無罪ト云フコトニナツタ時ニハ

行政命令ト云フダケノコトヲ持ツテ往ツテヒドヒ罰ヲ與ヘルト云フコトハ不

當デアルト云フノデアリマスカラ、其様ニ御承知ヲ……

○議長(鳩山和夫君) 波多野傳三郎君 本員ハ又委員會修正ノ三十條ニ就イテ

ノ修正意見ヲ提出致シマス、本員ハ元來新聞紙條例ニ就イテハ、本員カラ

提出ノ意思モ持ツテ居リマスガ、既ニ本會ニ於テ進行上、政府案ヲ委員會ガ

修正シタモノガ此處マデ確定シ來リマスレバ、此三十條ヲ勢ヒ前後照應ノタ

メニ又修正セネバナラヌト思フ、其修正ノ仕方ハ如何ト申シマスルト云フト、此「第二十一條ノ停止ヲ犯ストキハ發行人編輯人ヲ一箇月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處シ若クハ是ヲ附加ス」ト、斯様ニ修正スル譯デゴザリマス、ナゼ之ヲ修正スルカト申シマスルト云フト、

二十一條ノ停止ヲ犯スト云フトキハ、即チ三十一條若クハ十九條ニ背クトキ

デナケレバ二十條ニ背クトキデナケレバ、行政命令ノ停止ニ背クト云フコト

ハ出來ヌ場合テゴザリマス、即チ此停止ヲ犯ストキハ、即チ二十條ノ外務大

臣、陸軍大臣、海軍大臣ノ禁止ノアル外交軍事ニ關スルコトヲ記載シタルト

キデアル、然ラズンバ三十一條ニアル、皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ、政體ヲ變改

シ、又ハ朝憲ヲ紊亂シタルトキ、或ハ又三十二條ノ社會ノ秩序風俗ヲ壞亂シ

タルトキデナケレバ命令ニ背カヌノデアリマス、即チ内務大臣若クハ拓殖務

大臣ノ停止ヲ犯シタトキト云フコト、二十條ト、三十一條ト、三十二條トニ

背クト云フコトハ、一ツニシテ二ツニシテナインデゴザリマス、然ルニ二十圓以

上五百圓以下ノ罰金ニ處スルト云フコトニナリ居リマスルト云フト、甚ダ刑

罰ノ輕重權衡宜シキヲ得ヌコト、思ヒマス、先ヅ手近イ例ヲ申シマスルト云

フト、十九條ニ「禁令ヲ犯シ發賣頒布ヲ犯ス者ハ前條ニ同シ」トアル、此十九

條ノ禁令ヲ犯スト云フノハ何デアルヤト申シマスルト、外國デ發行シタ新聞

紙ヲ、内國デ發賣頒布スルコトハ相成ラヌト云フニ、之ヲ内國ニ於テ發賣頒

布シタルトキハ、如何ナル罰ニ處スルカト云フト、一箇月以上六箇月以下ノ輕

禁錮二十圓以上一百圓以下ノ罰金ニ處スルコトガ出來ル、然ルニ内國ニアッ

テ發賣發行シタル新聞ノ發賣頒布ヲ停止スルト云フコトモ、亦二十一條ノコ

トニ變ツテ居ラヌ、然ルニ之ヲ發賣頒布シタルトキハ、外國ノ新聞ガ大弊ガ

アルガ、内國ノ新聞ナラバ大弊ガナイト云フガ如キコトハ前後照應ヲセヌコ

トノ一ツデアル、加フルニ唯政府ノ注意制止ノ效ナクシテ、皇室ノ尊嚴ヲ

冒瀆シタルトキハ二年以下ノ輕禁錮、若クハ三百圓以下ノ罰金ニ處セラル

ルト云フコトニナリ居ル、帝室ノ尊嚴ヲ冒スルト云フコトガ、行政命令ニ

背クト云フコト、同様ニ五百圓以下ノ罰金ニ濟ムカノ如クニ相成リマスル、

然ルニ私ガ修正スルガ如ク致シマスレバ、其嫌モナクシテ、即チ行政ノ停止

命令ニ背クトキハ、二十條、若クハ三十條、若クハ三十一條ニ背クトキデア

ル、二十條、三十條、三十一條ニ背カズシテ停止ヲ犯スト云フコトハナイ、

即チ停止ヲ犯スト云フコト、此二十條、三十條、三十一條トハ一ツニシテ

二ツデナイト云フコトガ定タル以上ハ、之ニ對スル罰ト云フモノガ、其一

番重イモノト輕イモノトヲ裁判官ノ心證ニ依ツテ科スルコトガ出來ルモノト

相成リ居リマセヌト、折角ノ法文ガ前後均一ヲ得ヌモノトナルガ故ニ、本員

ハ前述ブルガ如ク「二十一條ノ停止ヲ犯ストキハ發行人編輯人ヲ一箇月以上二

年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處シ若クハ之ヲ附

加スル」ト云フコトニ修正セネバナラヌト思ヒマスガ故ニ、此修正說ヲ提出

致シマス

○工藤行幹君(百九十七番) 賛成ガアリマセヌカラ、波多野君ノ修正案ハ議題ト爲

リマセヌ

○議長(鳩山和夫君) 波多野君ノ勧議ニ賛成ガゴザリマス

○工藤行幹君(百九十七番) 賛成ガナケレバ宜シウゴザリマス

○議長(鳩山和夫君) 賛成ガアリマセヌカラ、波多野君ノ修正案ハ議題ト爲

○折田兼至君(百一番) 別ニ私ハ此處デ修正案ヲ維持スルノ意見ヲ述べルノ必要ハゴザイマセヌケレドモ、小松三省君ノ案ガ成立致シマシタトシマスル

ト――賛成者ガアシテ議題ト爲シタト致シマスレバ、一言申サナケレバナラヌ、第三十條、即チ今修正シタル第三十條デゴザイマスルガ(此時演壇ニ登

○議長（鳩山和夫君）少數ト認メマス、因テ小松君ノ修正動議ハ否決シマシタ――次ハ委員會ノ報告ニ就イテ採決シマス、委員會ノ報告ニ御異議ハゴザリマセヌカ

○議長（鳩山和夫君） 委員會ノ報告ノ通可決致シマシタ、第三十二條、是ニ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕  
、小西君、修正ナリマク、西基之助君

罰金ニ附加セテレルヤウニモ聞エハカラ  
ザイマスケレドモ、本員共カラ見マスルト、罪ヲ構成シナイ場合ハ決シテ罰  
金ニ處セラレルヤウナ憂ハナイ、此法文デ以テナイト云フコトヲ認メ得ルト  
考ヘマス、十分ニ是ダケデ罪ヲ構成シナイモノハ、無論行政命令違反トシ  
テ、罰金ニ處セラレル氣遣ヒナイモノト解釋シ得ルコトガ出來得ルモノト思  
ヒマスカラ、精神ニ於テハ小松君ト同意ニアリマスルガ、法文ハ小松君ノ法  
文ヨリカ、此分ガ善イヤウニ思ヒマスカラ、委員會ノ修正説ヲ維持致シテ置

○谷澤龍藏君(百八十九番) 唯今本員ノ小松君ニ贊成シマシタ理由ヲ一應述ベヤウト思ヒマス、唯今小西君ナリ其他ノ御論ガアリマシタカラ一應述ベマス此事トハ大變大切ナル問題デアラウト思フ、縱令無罪ニナツテモ矢張行政命令ニ違ツタモノハ罰セシケレバナラヌト云フコトハ、小西君ノ今述ヘタヤウナコトニナル、然ルニ此行政命令ニ違ツタ場合ヲ分ケテ見レバ、ニツアラウト思フ、本罪ガ無罪ト爲ル場合ト、本罪ガ或ハ同一ノ目的デナク同一ノ趣意デナカッタ場合合ガアル、此同一ノ目的デナク同一ノ趣意デナイトキハ、無論解釋上無罪此本罪ガ成立タヌト云フコトモ、出來マセウケレドモ、此無罪ノ場合、是等ヲ以テ無罪ニナツテモ、矢張此本條ノアル限ハ持タナケレバナラヌ、全體官吏ニ抗拒スル犯罪ノ如キモ、隨分是ハ解釋上色ニナツテ居ッテ、裁判所杯デモ區々ニナツテ、又外國ニ於テモ區々ニナツテ居ルカラ、隨分ハツキリシテ置カナケレバナラヌ、若シ果シテ本條ノ如クシテ置ケバ、ドウシテモ無罪ニナツタ場合ノ如キハ、當然矢張行政命令ニ違ツタト云フテ、之ヲ有罪ニシナケレバナラヌト思フ、然ルニ元來不都合ナ命令ヲ發シテ居ッテ、此法律ニ適合シナイモノヲ罰シテ、人身ノ權利ヲ侵シ——人權ヲ侵シタ命令ヲ發シテ無罪ニナツテ居ルノニ、尙ホソレニ對シテ行政命令ニ違ツタト云フテ、犯罪トスルコトハ甚ダ其當ヲ得ナイ、解釋上或ハ斯ル場合ニ於テ、無罪ニスルコトガ出來ルダラウト云フ論ガアルガ、是ハ決シテ出來ナイ、サウスルト非常ニ不幸ニ陥ル、人權ヲ蹂躪セラレ、サウシテ法律ニ觸レナイモノヲ、犯罪ト看做シ、尙ホ之ニ加フルニ行政命令ニ違ツタト云フテ、處罰ヲ受ケルト云フコトハ甚ダ酷ナ話デアル、故ニ犯罪ノ成立タナンダ場合ハ之ヲ罰セヌト云フコトヲ明ニ示シテ置クノガ、極ク必要ナコトデアラウト思フ、尤モ或ハ政體上ノコト、主義ノ違ツテ居ルトカ云フコトニ就イテ、將來唯斯ウニ就イテハ種々ナル弊害ヲ是マテ見テ居ル、是ハ明ニシテ置クガ必要ト思ヒマスカラ、小松君ニ贊成ヲ致シマス、聊カ理由ヲ述べマス

○議長(鶴山和夫君) 採決シマス、小松君ノ修正動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

衆議院議事速記錄第十五號

明治二十年二月二十七日

新聞紙條例改正法

第一讀會ノ續

新聞法案 第一讀會ノ續

一一一

○肥塚龍君(六十三番) 委員長ナル工藤君ニ御尋致シタイ、三十二條末項ニ、  
「本條ヲ犯シタルモノハ犯罪ノ用ニ供シタル器械ヲ沒收ス」トアリマスルガ、實際私ハ  
原案デハ本條ヲ犯スモノ——ドチラデモ是ハ宜シウゴザイマスガ、其犯罪ノ  
用ニ供シタル器械ヲ沒收スト云フコトハ、別段ニ新シク何カ御説デモアツム  
カハ知リマセヌガ、私ハカウ云フ場合ニ考ヘテ居ルノデゴザリマス、是マデ  
犯罪ノ用ニ供スト云フヤウナコトハ、能ク分ッタデゴザイマスガ、實際私ハ  
行ハレナイモノデアルヤウニ思フノデゴザイマス、ト云フモノハ御承知デモ  
ゴザイマセウガ、新聞社ガ悉クドノ新聞社デモ自分ノ家ニ器械ヲ備ヘテ、新  
聞ヲ拵ヘルト云フモノデハゴザイマセヌ、活版社ニ頼ンデ活版社デ刷クテ貰  
フト云フコトニナツテ居ルノガ澤山ゴザイマス、其場合ニ於テ此修正案ノ三  
十一條、原案ノ三十二條ノ末項ニ、器械ノ沒收ト云フコトガゴザイマスルト、  
活版社ガ活版ノ請負ヲシテ刷クテ居ル所ノ活版器械ヲバ、貴様ハ是ミノ新聞

ト貴様ノ社デ刷ヲタ、其器械デ刷ヲタガ故ニ、沒收ト云フコトニナリマスル業トシタ器械デナイデゴザイマスガ、其新聞紙バカリニ請負フタ所ノ新聞紙ヲ刷ルノデゴザイマスカラ、犯罪ノ新聞紙ダケヲ刷ルヲ使ッテ居ラヌデゴザイマス、普ク社會ノ便ニ供シテ居ル器械ヲ、一時使ッテウト思フ、然ラバ斯様ナ場合ニハ、器械ヲ沒收シテ居ル方デハ、一時使ッテルト、サウスルト或ル新聞ハ器械ヲ沒收セラレルシ、或ル新聞ハ器械ヲ沒收シナイト云フ、一ハ沒收セラレ、一ハ沒收セラレナイト云フ、一ノ法律ガ二ニ行ハレルト云フコトノ不都合ガ起ルヤウニ思フデゴザイマス、私ハ元來器械沒收ト云フコトハ、實際ニ行ハレヌコトデアルト云フ說ヲ持ッテ居ルノデゴザイマスカラ、委員長ノ御意見ヲ承ッテ、其御意見ノ都合デハ、ドウゾ本條ヲ犯シタモノハ、其犯罪ノ用ニ供シタルト云フ、此一項ダケヲバ削リタトイ云フ考ヲ持ッテ居ルノデゴザイマスガ、委員長ノ御意見ハ即チ委員會ノ御意見ハドウ云フノデゴザイマシタカ、若シ別ニ變ッタコトノ御意見ガナイコトナラバ、委員諸君モ御同意下サレテ、此一項ハ削除シテ下サレタイト思ヒマス

○工藤行幹君(百九十七番) 犯シタルモノト云フコトニ就キマシテハ、唯字句ノ所ダケハ、委員會デ修正ノ論議ガアリマシタマデノコトデ、是ハ政府案ニ何モ論ガナカッタコトデゴザイマス、敢テ唯今ノ御質問ノコトヲコッチニ見タアツチニ見タト云フコトハ、委員會デハ何モソレ等ノ論ハナカッタモノデゴザイマス、併シ唯自分一個デ見ルノハ、犯罪ノ用ニ供シタルモノガアルモノハ沒收スル、ナイモノハ沒收シナイト見テ居ルデゴザイマス、併シ此上ニハ委員デハ論ガナカッタデゴザイマス、一個デ思フノハ左様ニ見テ居ルデゴザイマス、尙ホ内譯ノ詳シイ御質問ニナルナラバ、是ハ政府カラ出タコトデゴザイマスカラ、幸ニ政府委員ニ向クテ御尋ニナリタイ

○肥塚龍君(六十二番) 政府委員ニソレデハ御説明ヲ請ヒマスガ、唯ニ工藤委員長ニ本員ガ御尋申シマシタ所ノ結果、一ノ法律ガニニ行ハレルト云フコトデアルガ、然ラザレバ餘程ヒドイコトヲセネバナラズ、ヒドイノミナラズ、不法ノコトヲセネバナラヌコトガ起ルデアラウト思ヒマス、其邊ノ所ハ政府委員ニ於テハドウ云フ御意見デゴザイマスカ、一應承リタイ

(政府委員法制局長官神鞭知常君演壇ニ登ル)

○政府委員(神鞭知常君) 是ハ修正ノ場合ニ、現行法ガ其儘デ宜イト見込ンデ、政府ハ其儘ニ存シタノデゴザイマス、而シテ餘所ニ頼ンデ新聞屋デハ自分ノ家ニ器械ヲ持タスカラ、器械ヲ取ラレナイ、又自分ノ家ニ又器械ヲ持ッテ居ッテ、ソレヲ使ヘバソレヲ取ラレルカラ、不釣合ダト云フコトカラノ御發議ノヤウニアリマスルケレドモ、如何ニモ斯ウ書イテゴザイマスルト、其家ニ持ッテ居テソレヲ使ッタノハ、ソレヲ取ラル、ニ相違ゴザイマセヌ、ソレカラ其家ニ持ッテ居ラヌデ、他デ新聞ヲ印刷シテ貰ッテ賣ッテ居ル方デハ、其器械ハ他人ノ器械故ニ、沒收セヌコトニナラウト存ジマス、丁度ソレハ發行人編輯人ナドカ若シ兼務デアッテ、一人ヨリナカッタラバ、一人ダケ牢ニ這入り、二人アツタキニハ二人牢ニ這入ルコトニナルデアラウト存ジマスカラ、ナイモノハ罰スル場合ニ漏レマスルコト、存ジマス

○肥塚龍君(六十二番) ソレデハ委員長ノ意見モ、略々分リマ

シテゴザイマスルガ、私ハ本條ヲ犯スモノデモ、犯シタルモノデモ、宜シウ  
ゴザイマスガ、其犯罪ノ用ニ供シタル器械ヲ沒收スルト云フ一項ヲ削除スル  
説ヲ提出致シマス、其理由ハ長ク言フニ及ビマセヌガ、印刷ヲ他人ニ注文シ  
タルモノハ、此恐シキ所ノ器械沒收ト云フ責道具デ責メラレルコトヲ免レル  
シ、自分ノ家ニ持ツテ居ルモノハ、器械ガアツタナラバソレハ沒收スル、斯  
ウ云フ御話デゴザイマス、然ラバ其新聞紙ガ書イタ事柄ハドウデアルカト  
云フト、活版社ニ頼ンデ置イタ新聞紙モ、自分ノ家ニ器械ヲ持ツテ居ル新聞  
モデス、同ク 皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スルトカ、政體ヲ變換スルトカ云フヤウナコ  
トヲバ 皇室ト云フヤウナコトハアルカナイコトハ知リマセヌガ、斯様ナコ  
トガ假ニアルトシマシタ所ガ、書クコトハ却テ斯様ニナルデアラウト思ヒマ  
ス、活版社ニ頼ンデ居ル新聞紙ハ、幾ラ手ヒトイ事ヲ書イテモ、器械ノ沒收  
ト云フ恐ロシイ所ノ責道具ガナイカラ、手ヒトイ事ヲヤツ附ケテヤルト云フ  
コトガアル、所ガ器械ヲ自分ニ持ツテ居ル所ノ新聞紙ハ、發行停止ノミナラ  
ズ、器械ト云フ飯ヲ食フ道具ヲ沒收スルト云フ虞レガゴザイマスカラシテ、  
却ツテ筆ヲ執ル時ニハ、謹ミ深クナルデゴザイマセウ、汝ガ謹ミ厚キガ故ニ機  
械ヲ沒收ス、謹ミ少ナイ亂暴ナルモノハ、汝亂暴ナルガ故ニ器械沒收ノ罰  
ヲ免ズ、實ニ理窟ノ合ハヌ話デハゴザイマセヌカ、ドウゾ私ハ長ク申シマセ  
ヌカラ、委員會ノ諸君モドウゾ是ニ御賛成下サレテ、器械ノ沒收ト云フコト  
ダケハドウゾ削除ヲ願ヒタイト思ヒマスカラ、修正説ヲ提出致シマス

ニ就イテハ動議ガアリマスガ、是ヘ削除スルト云フノデスカラ、先ヅ委員會ノ修正ニ就イテ採決シマス、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立、起立者多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、因テ第二項ハ委員會ノ修正通決シマシタ、從テ肥塚君ノ削除説ハ自然否決セラレタルコト、爲リマス——次ハ第三十三條、是モ原案通別ニ異議ハアリマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) 原案通異議ハナイト認メマス、因テ原案通決シマス、本案ノ條項ノ整頓ハ議長ニ御任せ下スカ、其他ハ確定シタモノト見テ宣ウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 異議ナシト認メマス、本案ハ是デ確定致シマス、日程第二、保稅倉庫法案——政府委員自賀田種太郎君

## 第二 保稅倉庫法案(政府提出)

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

### 第一讀會

#### 保稅倉庫法

##### 第一章 總則

第一條 保稅倉庫ハ輸入手數未濟ノ貨物ヲ藏置スル所トス

第二條 保稅倉庫ニ藏置ノ貨物ハ其ノ藏置中ハ輸入シタルモノト看做サス

第三條 保稅倉庫ニ藏置シタル貨物ノ輸入税ハ其ノ最初庫入ノ時ノ性質及

數量ニ依リ之ヲ徵收ス

第四條 保稅倉庫ニ若クハ保稅倉庫ヨリ輸入手數未濟貨物ヲ運搬スルトキ

ハ命令ヲ以テ定ムル通路ニ依ルヘシ

第五條 保稅倉庫ニ藏置スルコトヲ得ヘキ貨物ノ種類ハ主務大臣之ヲ定ム

第六條 保稅倉庫ニ藏置シタル貨物ノ輸入ニ關シテハ此ノ法律ニ規定シタルモノノ外稅關法及稅關規則ヲ適用ス

第七條 保稅倉庫ノ貨物藏置期限ハ庫入ノ日ヨリ満一箇年トス

第八條 保稅倉庫ニ藏置ノ貨物庫移ヲ爲ストキハ其ノ藏置期限ハ總テ最初庫入ノ日ヨリ通算ス

第九條 輸入手數未濟ノ貨物ヲ運搬スルトキハ當該官廳ハ貨主ヲシテ其ノ

貨物ニ對スル輸入税金ヲ假納セシムルコトヲ得

前項ノ貨物陸揚申告ノ日ヨリ満一箇年ヲ過キテ仕向地ニ到達セサルトキ

ハ其ノ輸入税ヲ徵收ス

第二章 官設保稅倉庫  
第十條 官設保稅倉庫ニ藏置スル貨物ニ對シテハ記名ノ預證券ヲ發スルモノトス  
第十一條 預證券ハ裏書ヲ以テ讓渡スルコトヲ得

第十二條 預證券盜難ニ罹リ又ハ紛失滅失シタルトキハ其ノ旨當該官廳ニ居出ヘシ  
前項ノ場合ニ於テ民事訴訟法ニ依リ其ノ證券ヲ無効トスル除權判決アリタルトキハ權利者ニ新證券ヲ交付ス  
第十三條 前條第一項ノ居出アリタル預證券ヲ持參スル者アルトキハ持參人及居出人ニ於テ相當ノ手續ヲ爲シ其ノ權利者確定スル迄藏置貨物ノ引

渡ヲ停止ス  
第十四條 藏置ノ貨物ハ預證券引換ニ交付スルモノトス

第十五條 藏置貨物引取ノ權利ニ付訴訟アルトキハ其ノ當事者ハ藏置期限ノ延期ヲ求ムルコトヲ得

當該官廳ハ其ノ貨物ノ記號番號品名箇數等ヲ公告スヘシ

前項公告ノ日ヨリ満六箇月ヲ經テ之ヲ引取ル者ナキトキハ當該官廳ハ其ノ貨物ヲ競賣ニ付シ輸入税、公告料、競賣手數料、庫敷料其ノ他一切ノ費用ニ充テ殘金アルトキハ貨主ニ還付ス

第十七條 藏置ノ貨物腐敗其ノ他ノ事故ニ因リ倉庫又ハ他ノ貨物ヲ害スルノ虞アルトキハ當該官廳ハ之ヲ滅却スルコトヲ得但シ緊急ノ必要アルトキハ期限内ニ於テモ仍之ヲ滅却スルコトヲ得

前項ニ依リ滅却シタル貨物ニ對シテハ輸入税ヲ徵收セス  
第三章 私設保稅倉庫  
第十八條 保稅倉庫ヲ設ケ輸入手數未濟ノ貨物ヲ保管スル業ヲ營マントスル者ハ主務大臣ノ特許ヲ受クヘシ

第十九條 私設保稅倉庫ノ庫主ハ當該官廳ノ指揮監督ヲ承クヘシ

第二十條 私設保稅倉庫ノ庫主ハ其ノ保管スル貨物ノ輸入税ニ付自ラ一切ノ責任ヲ有シ天災事變其ノ他何等ノ事故ニ因ルヲ問ハス貨物紛失滅失シ若クハ盜難ニ罹ルモ其ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十一條 私設保稅倉庫ノ庫主ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保管貨物輸入税ノ擔保トシテ金錢又ハ國債證券ヲ供託スヘシ

第二十二條 私設保稅倉庫ニハ庫主ニ屬スル貨物ヲ藏置スルコトヲ得ス

第二十三條 私設保稅倉庫ニ保管スル貨物ニシテ其ノ庫入ノ日ヨリ満一箇年ヲ過クルトキハ輸入税ヲ徵收ス

第二十四條 私設保稅倉庫ノ貨物保管規則及庫敷料ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第二十五條 當該官廳ハ監督上必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ私設保稅倉庫ノ貨物又ハ帳簿書類ヲ検査スルコトヲ得其ノ貨物運搬中ニ在ルモノハ其ノ所在ニ就キ検査ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 私設保稅倉庫營業ノ特許ハ左ノ場合ニ於テ消滅スルモノトス

第一庫主其ノ營業ヲ廢シタルトキ

二庫主死亡シタルトキ

三特許ノ期限満了シタルトキ

五主務大臣ニ於テ特許ヲ取消シタルトキ

第二十七條 私設保稅倉庫營業ノ特許消滅シタルトキハ當該官廳ハ其ノ公報シ貨主ヲシテ指定ノ期限内ニ其ノ藏置貨物ノ處分ヲ爲サシムヘシ但シ前營業者ノ業務ヲ引繼クカ爲ニ特許消滅後一箇月以内ニ營業ノ特許ヲ出願スル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ指定期限ヲ過ルモ貨主其ノ貨物ノ處分ヲ爲ササルトキハ當該官廳



## 輸入稅表

第一種 有稅品  
品名  
第一類 兵器、時計、學術器具及機械類  
大砲、小銃、拳銃、刀劍、砲彈、裝置其ノ他諸兵器







○政府委員大藏省主税局長日賀田種太郎君演壇ニ登ル  
 ニ副ヒ、又貿易ノ隆昌ニ伴ヒ、一方ニハ收入ヲ得、一方ニハ内國ノ産業ヲ保  
 護スルト云フノ目的ヲ以テ主ト致シテゴザイマスル、其要旨ヲ舉ゲマスレバ  
 新製品若クハ半製品ノ如キモノニ對シテ率ヲ一割ト定メマシテ、之ヲ本ト致  
 シテ、其物品ノ奢侈ニ涉ルモノ、如キハ高度ニ進メマシテ、有用ニ比較シテア  
 リマスルモノ、如キハ數等ニ分ケマシテ、即チ此關稅率ヲ、五ヲ以テ始メテ  
 四十二至ルト云フコトニナクテ居リマス、今日ノ貿易ノ隆盛ヲ告グルノトキ  
 ニ當リマシテ、適當ナル稅率ナリト信シテ、此法ヲ提出シタ譯デゴザリマス、  
 宜シク御評議ヲ俟チマスル

〔委員付託ト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 御質問ガナケレバ、日程第五ニ移リマス

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

〔是ハ十八名ノ委員ニ付託サレルコトニト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 本案ヲ議長指名ノ委員ニ付託スルト云フコトニ、異議  
 ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 直チニ委員ヲ指名シマス

〔田中書記官朗讀〕

栗原亮一君	鈴木充美君	重岡薰五郎君
阿部興人君	肥塚龍君	石原半右衛門君
江橋厚君	内藤久毫君	吉田祿在君
中野武營君	前川慎造君	金尾稜嚴君
河島醇君	伊藤徳太郎君	田口卯吉君
秋岡義一君	野口勝一君	吉君

○議長(鳩山和夫君) 日程第八ニ移リマス、千葉縣茨城縣境界變更法律案(木村格之輔君外

第一讀會

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

第一條 千葉縣茨城縣境界變更法律案(木村格之輔君外

第七名提出)

千葉縣茨城縣境界變更法律案(木村格之輔君外

第一條

千葉縣東葛飾郡二川村大字新田戸ノ内中利根川以北

第一條

千葉縣茨城縣境界變更法律案(木村格之輔君外

第一條

千葉縣東葛飾郡二川村大字古布内ノ内及千葉縣東葛飾郡木間ヶ瀬村

第一條

千葉縣南相馬郡我孫子町大字青山ノ内中利根川以北ハ茨城縣北相馬

第一條

千葉縣南相馬郡布佐町大字布佐ノ内下利根川以北ハ茨城縣北相馬郡

第一條

千葉縣香取郡金沙津村(下利根川以南)ハ茨城縣稻敷郡ニ編入シ千葉

第一條

千葉縣香取郡金沙津村(下利根川以南)ハ茨城縣稻敷郡ニ編入シ千葉

第一條

千葉縣香取郡金沙津村(下利根川以南)ハ茨城縣稻敷郡ニ編入シ千葉

第一條

衆議院議事速記録第十五號 明治二十年二月二十七日 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 千葉縣茨城縣境界變更法律案 第一讀會

六 千葉縣香取郡十余島村ハ茨城縣稻敷郡ニ編入シ千葉縣香取郡神崎町  
 大字小松ノ内大字神崎神宿ノ内大字神崎本宿ノ内大字今ノ内本新島  
 村大字野間谷原ノ内下利根川以北ハ右十余島村ニ編入ス  
 伊崎村ニ編入ス

八 千葉縣香取郡本新島村(下利根川以北ノ地ヲ除ク)ハ茨城縣稻敷郡ニ編入  
 シ千葉縣香取郡新島村大字八筋川ノ内大字境島ノ内大字大島ノ内大  
 字三島ノ内佐原町大字佐原ノ内横利根川以西ハ右本新島村ニ千葉縣  
 香取郡本新島村大字川尻大字大戸新田大字野間谷原ノ内大字石納ノ  
 内大字飯島ノ内下利根川以南ハ千葉縣香取郡東大戸村ニ編入ス  
 千葉縣香取郡新島村(機利根川以西ノ地ヲ除ク)ハ茨城縣行方郡ニ編入シ千葉縣  
 香取郡津宮村ノ内與田浦以北ノ地大倉村大字大倉ノ内與田浦以北ノ  
 地ハ右新島村ニ編入シ千葉縣香取郡津宮村ノ内下利根川以南及大倉  
 村大字丁子大字大倉ノ内下利根川以南ハ合併シテ津宮村トス  
 千葉縣香取郡佐原町大字西代大字長島大字中洲大字佐原ノ内大字篠  
 原ノ内津宮村ノ内(與田川以北下利根川以南ノ地ヲ除ク)大倉村大字大倉ノ内(與田川以  
 地ヲ除ク)豐蒲村大字一ノ分目ノ内下利根川以北ハ茨城縣行方郡ニ  
 編入シ佐原村トス

九 附

第二條 此ノ法律施行ノ爲縣ノ財產處分ヲ要スルトキハ關係縣會ノ意見ヲ  
 聞キ内務大臣之ヲ定メ町村ノ財產處分ヲ要スルトキハ關係町村會ノ意見ヲ  
 聞キ其ノ關係縣知事協議ノ上之ヲ定ムヘシ若協議整ハサルトキハ内務  
 大臣ノ裁定ヲ請フヘシ

第三條 衆議院議員及縣會議員ハ本法ニ依レル縣境界變更ノ爲其ノ議員タ  
 ル資格ヲ失フコトナシ

但縣會議員ニシテ此ノ法律施行ノ爲本籍及住居ノ他縣ニ移リタルモノ  
 ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 衆議院議員及縣會議員ハ本法ニ依レル縣境界變更ノ爲其ノ議員タ  
 ル資格ヲ失フコトナシ

ノハ本法ニ依レル縣境界變更ノ爲中斷セラル、コトナシ

第五條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

○木村格之輔君(二百十三番) 極メテ簡單ニ申述べマスカラ、是ヨリ  
 變更ノ必要ナルコトハ、理由書ニ申述べテゴザイマスル通デゴザリマス、此千  
 葉、茨城ノ兩縣ノ輿論ガ此變更ヲ望ムコトハ、參考書ニ備ヘテアリマスル通  
 デアリマスカラ、速ニ可決アランコトヲ希望致シマス、而シテ本案ノ如キハ  
 地方ノ問題ニ屬シマスカラ、九名ノ委員ニ付託審査セラレンコトヲ、併テ希  
 望致シマス

〔賛成タク〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 本案ハ、議長指名ノ委員ニ付託スルト云フノ動議ガア  
 リマスガ異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 其通決定致シマシタ、日程第九ニ移ル前ニ、委員ヲ先  
づ報告致シマス

(田中書記官朗讀)

木村 格之輔君

小室 重弘君

高橋 安爾君

首藤 陸三君

秋山 忠夫君

關信之介君

湯本 義憲君

小鷹狩 元凱君

關戸 覚藏君

白鳥 慶一君

○議長(鳩山和夫君) 日程第九ニ移リマス、明治二十七年法律第二十號中改正法律案

明治二十七年法律第二十號中改正法律

第一讀會

○議長(鳩山和夫君) 日程第十ハ、提出者カラ本日ノ日程カラ除キタイ、即チ

延期シテ貰ヒタイト云フ、是ニ御異議ハゴザリマセヌカ

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

○議長(鳩山和夫君) 其事ニ致シマス、尙ホ御詰リ申スコトガゴザイマス、

豫テ委員ニ付託シテアリマス出版法ハ、其提出者カラ撤回シタイト云フコト

明治二十七年法律第二十號中改正法律案

○議長(鳩山和夫君) 卽チ撤回ヲ許スコトニ致シマス、次ノ日程ハ追テ書面

ヲ以テ御通知申上ゲマス、今日ハ是デ散會致シマス

○議長(鳩山和夫君) 日程第十ハ、提出者カラ本日ノ日程カラ除キタイ、即チ  
第三條中「宣告セラレタル裁判所又ハ其ノ事務引繼ヲ受ケタル官廳ヨリ本  
法第四條ノ認定及收祿ニ係ル證明書ヲ受ケ」ノ四十七字ヲ「受ケタル證明  
書若ハ收祿ニ係ル證明書ニ依リ」ノ二十字ニ改ム

○議長(鳩山和夫君) 卽チ撤回ヲ許スコトニ致シマス、次ノ日程ハ追テ書面

ヲ以テ御通知申上ゲマス、今日ハ是デ散會致シマス

○議長(鳩山和夫君) 日程第十ハ、提出者カラ本日ノ日程カラ除キタイ、即チ  
第三條中「宣告セラレタル裁判所又ハ其ノ事務引繼ヲ受ケタル官廳ヨリ本  
法第四條ノ認定及收祿ニ係ル證明書ヲ受ケ」ノ四十七字ヲ「受ケタル證明  
書若ハ收祿ニ係ル證明書ニ依リ」ノ二十字ニ改ム

○議長(鳩山和夫君) 卽チ撤回ヲ許スコトニ致シマス、次ノ日程ハ追テ書面

(「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」)

(田中書記官朗讀)

關信之介君 西田忠之君 河北勘七君